

[江川剛史からのメッセージ]

全ては、繋がりに合っている。

宇宙と貴方という宇宙も繋がっているし、

貴方と家族、

貴方と恋人、

貴方と友達、

貴方と先祖、

貴方と私も繋がっている。

貴方と木も繋がっているし、

貴方と大地も繋がっている。

貴方と気も繋がっているし、

貴方と霊も繋がっている。

貴方と、見えない物質、

見えないエネルギーとも繋がっている。

全ては繋がっている。

何千、何億年前とも、

貴方は繋がっている。

全ては繋がりに合っているのだ。

だからこそ、

貴方は地球であり、

貴方は、大地であり、

貴方は、生物でもあり、

貴方は宇宙でもある。

全ては繋がっている。

だからこそ、

その繋がりを大事にしながら、

生きることだ。

繋がりが合っている。

全ては繋がりが合っていると気付くことで、

また今後の生き方も変わっていくだろう。

全ては繋がっている。

貴方と過去、

貴方と未来も繋がっている。

ぜひ、その繋がりを意識しながら、

貴方の人生を生きて欲しい。

貴方とスピリチュアルも繋がっているし、

貴方と物理学も繋がっている。

ぜひ、どんどん繋がりを意識し、

繋がっていきこう。

・私が学び、考えたこと。

実際、私は人間嫌いだ。

人間が嫌いというより、

相手の気持ちを考えない人間が嫌いなのだ。

自分の常識を押し付け、

罵声を浴びせる人間。

相手を敬うこともなく、

人間性を磨かない人間。

自分がやりたくないことを、  
相手に押し付ける人間。

口の悪い人間。

キレル人間。

相手を蹴落とそうとする人間。

妬む人間。

誤解する人間。

女性を敬わない人間。

働いてもらうことに感謝もしない人間。

馬鹿な人間。

決め付ける人間。

騙す人間。

残酷な人間。

無知な人間。

自分を磨かない人間。

すべて、大嫌いだ。

今、書いた人間達は、

実際に存在する。

世界にたくさんいるだろう。

嫌いだ。

大嫌いだ。

しかし、それでも、

私は自分自身は嫌いじゃない。

私は今まで自分を見てきた。

嫌いじゃない。

もし私が女性なら、  
付き合ってもいい。

そう思える人間だ。

つまり私は、  
特殊だが、善人なのだ。

私を嫌う人もいるだろう。

恐らくたくさんいる。

私は今まで生きてきた中で、

数々の人に嫌われてきた。

特に男性に嫌われたかな。

でも、

私を嫌わないとしたら、

貴方は、ある程度のステージにいるかもしれない。

私は嫌いだと思う人間はいるが、

私は愛している。

すべての人間を、

すべてを愛そうとしている。

好き嫌い、  
愛する、愛さないは違う。

私も、  
イエスキリストが教えたように、

敵を愛する思想があるのだ。

敵を愛する。

自分を愛してくれるものを愛する。

敵も愛し、  
自分に好意を持つものは、

さらに愛する。

そうやって、

愛の幅を作ることだ。

嫌われるマーケティングというものもあるが、

私は、これを大事にしようと思う。

嫌われてもいい。

嫌われてもいい。

私は好きなことをする。

自分勝手に生きる。

わがままに生きる。

そうして世界の為に生きよう。

嫌われることなど恐れない。

常識など知らない。

関係ない。

私は私として生きる。

そうして、

私の信念のまま、

自由に生きるのだ。

貴方はどう生きる。

貴方は、貴方が思うように生きればいい。

自由だ。

すべて自由だ。

人生は何とかなる。

貴方は自由に生きればいい。

私も自由に生きる。

そうしてお互い、  
切磋琢磨できたら、

それは素晴らしいことだ

[江川剛史からのメッセージ]

カトリック教会において、

人間を罪に導く欲望として、  
7つの大罪を提示している。

傲慢、物欲、妬み、憤怒、  
大食、色欲、怠惰の7つだ。

これは、悪魔とも関連付けられている。

傲慢はルシファーであり、

サタンは、憤怒だ。

こういう憤怒や傲慢という面は、

人間も持ちやすい。

事実、私も、

かつて世界や神に、

憤怒したことがあるし、

神を超えた、など、

傲慢に妄想した時もあった。

それだけ、

私は究極を求め、

究極の愛、究極の答えを求めていた。

そして、

世界では、  
自殺する人もいる。

性被害を受ける人もいる。

病気で苦しむ人もいるし、

目が見えない人もいる。

戦争が起きて虐殺も起きるし、

捨て犬は、処分される。

蚊は、人間の手で潰される。

小魚も他の生物に食べられる。

小亀も他の生物に食べられる。

小鹿もライオンに食べられる。

虫も虫を食べる。

食物連鎖による悲劇。

そういう不完全な部分に、

私は憤怒し、

神に怒りをぶつけた。

そうして妄想を重ねて、

神を超えたとも思ったのだ。

そんな時期もあった。

悲劇を研究した結果、

世界は消滅すべきだと、

考えたこともあった。

全存在を愛するということは、  
そんな考えにいたる時期もある。

私はそうだった。

でも、今は生きている。

何かを食べながら生きている。

私は全てを知らないし、

本当の究極は、

今も分からない。

このまま進化していけば良いのか。  
それとも、もう終わらせてしまうべきか。  
毎日、肉の塊と化している、  
牛や豚や魚や鳥のことを考えると、  
私には耐えられない。  
世界が大嫌いだ。  
そう思ったこともあった。  
でも、それは違うと言われた。  
世界は消滅すべきではないと。  
私には分からない。  
この世界は人間だけのものじゃない。  
人間以上の数が存在する生物も、  
地球上にはたくさんいるのだ。  
ただ私は今は生きることしか出来ない。  
自殺は出来ない。  
本当は死ぬべきだと分からない限り、  
あるいは分かったとしても、  
死ねないかもしれない。  
世界は不完全だ。  
最初から世界は高水準で、  
何も食べずに生きれて、  
みんなが幸せに生きれる、  
世界であれば良かったのに。  
私には、神の意志は分からない。  
神は摂理であり、  
神は正しいのか分からない。



ただ私は研究し続ける。

これから何千年、何万年と、

生きて生きて、  
答えを探して行こうと思う。

[江川剛史からのメッセージ]

天使や悪魔について、  
研究してみるのも面白い。

ただ、興味本位で調べるのではなく、

自分の生き方として、  
天使と悪魔について調べて、

それを生かすことをしてみると良い。

例えば、  
悪魔には、

色欲の悪魔や、  
暴食の悪魔などがいる。

それを考えて、

色欲に惑わされないようにしようと、

暴食をしないようにしようと、

悪魔ではない生き方を選ぶことも出来るのだ。

逆に、天使について調べてみるのも良い。

例えば、  
ガブリエルは、

神の意志を伝える天使であり、

神のメッセージを伝えるという、

インスピレーションを与えてくれる。

ミカエルに関しては、

神に似たものという名を与えられた天使であり、

神と似た存在であろうとするインスピレーションを与えてくれる。

私もスピリチュアルな世界を知る前に、

天使と悪魔の研究に入り込んでいた。

そうして、  
自分自身の生き方に照らし合わせてみたのだ。

天使と悪魔には、

善と悪の根源的なシンボルが含まれている。

だから、それを踏まえた上で、

貴方は、どう生きるか選択出来る。

天使のように生きるか。

悪魔のように生きるか。

それとも、

神のように生きるか。

選べるのだ。

貴方の背中に翼があるとして、

その翼は、どんな翼が似合うだろうか。

貴方のあり方によって、

その翼のあり方は、  
違うだろう。

ぜひ、貴方も、  
自分の生き方を考え、  
選択していこう。

選択をする時こそ、  
運命の分かれ目だ。

[江川剛史からのメッセージ]

政治家というものは、  
思っているより敷居は高くない。

誰でも立候補できるチャンスがあるのだ。

だからこそ、

貴方が国を変えたい。

県を変えたい。

町を変えたいと、

何か志があるなら、

政治家になるのもいいだろう。

私も政治家の選択肢も、

持っておくために、

この本を選出してみた。

貴方にも、

国をどうにかしたい。

世界をどうにかしたいと、

考えていることがあるはずだ。

だからこそ、

どのようにして、

それを実現するかが大事だ。

別に、国を変えるのは、

政治家だけではない。

総理大臣にならなければ、

国を変えられないわけでもない。

ただ、政治家という道は開かれている。

だから選択肢として、

目を開けておくことが大事だろう。

私も、日々、

社会貢献の為に生きている。

どのような選択肢を選んでいくかは、

これから次第だが、  
必ず、世界に多大な影響を与えてみせる。  
貴方の願いは何か。  
貴方は世界をどうしたいか。  
考えてみるといいだろう。

[江川剛史からのメッセージ]

宇宙には、銀河が 1250 億個ある。  
宇宙は、とてつもなく広い。  
そして宇宙人は、  
間違いなく存在するだろう。  
そして宇宙は、さらに膨張している。  
そんな、とてつもない宇宙を作り出したのが、  
神であるが、  
その意思というのは、  
計り知れない。  
私達は、死後も永遠に進化し続ける。  
終わりの無い進化。  
そして限界の無い進化が待っているのだ。  
その進化の果てもない。  
神に敵うことになることは無い。  
人間は死んだ後、  
神の偉大さを知る。  
そうして不満を言う気も無くなるという。  
私達が出来るとは、  
常に進化し、  
そして世界に貢献することだ。

霊となって人間をサポートするのも良い。

再び人間として再生して、

人間として世界に貢献しても良い。

霊界において、何かを学び、  
教えることをしても良い。

私達は、誰かと戦うのではなく、

自らを克服していくことが大事なのだ。

死んだからといって、良いことだけ出来るわけではない。

常に公正に裁かれ、

昇格したり降格をしたりすることになる。

私自身も知らないことは多い。

私が現時点で知っていることを書くことしか出来ない。

ただ、私は、進化をしたい。

自分自身のステージを上げて、  
貢献していきたい。

その気持ちは強い。

霊的な知識を得たお陰で、  
恐れるものは減った。

何が起きても、  
再び生まれても、

何が起きても、  
進化することと、

貢献をすること。

それをするだけだ。

貴方も生きて世界のために生きよう。

それは寄付でも良い。

貧しい生活をし、

命を失いそうな人に、

食料を渡すだけでも、  
水を提供するだけでも、

その人への利他となる。

貴方も本当は誰かの為に生きたい筈だ。

私はそう思う。

誰か一人でも幸せにすること。

そして、その先を生きること。

それが大事だ。

[江川剛史からのメッセージ]

秋葉原は、  
融合ビジネスで溢れている。

メイド+眼鏡屋。  
メイド+凶鑑。

執事+カフェ。

おでん+缶。  
コスプレ+BAR。

様々な融合がある。

特に、  
私が体験した融合に、

ゲーム+秋葉原。

これがあつた。

プレイステーションポータブルの、  
AKIBA'S TRIP というゲームだ。

このゲームは、  
リアルの秋葉原を舞台とした、

シミュレーションアクションゲームだ。

ゲームの世界でも、

秋葉原の街並みを歩くことが出来る。

メイドカフェに入り、

オムライスを注文することも出来るし、

マニアックなパソコンショップで、

パソコンのパーツを買うことも出来る。

私の中で、

ゲームの世界での秋葉原と、

現実世界での秋葉原が融合したのだ。

つまり催眠用語で言うと、

アンカリングが起きたのだ。

AKIBA'S TRIP をゲームする前の秋葉原の印象と、  
プレイ後の秋葉原の印象は大きく違う。

吸血鬼と戦った街。

仲間と一緒に戦った街。

冒険した街になったのだ。

このようにゲーム+街という融合も出来るのだ。

これを例として、

様々なものは融合することが出来る。

例えば、

セミナーで表すならば、

ビジネス+セミナーだけではない。

経済+セミナー。

世界情勢+セミナー。

心理学+セミナー。

催眠+セミナー。

哲学＋セミナー。

スピリチュアル＋セミナー。

英語＋セミナー。

恋愛＋セミナー。

スポーツ＋セミナー。

このように様々な融合が出来るのだ。

飲食店と何かを融合しても面白いし、

アイドル＋何かでも面白い。

様々な融合をすることで、

ユニークな存在になるのだ。

セミナーでも、

ビジネスだけではない。

様々なネタをセミナーに出来る。

動画コンテンツに出来る。

教材に出来るのだ。

ぜひ、様々なビジネスの融合を意識してみよう。

融合することで、  
科学反応が起こり、

その世界を、  
求めている人も、

世界にはいるのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

人類を救済するとか、

世界を変えるとか、

その方法は様々ある。



政治家になって、  
総理大臣になって国を変えるのも、

良いだろうし、

本を出版したり、  
セミナーを開いて、

自分の主張を広めても良い。

SNS を新設して、  
情報革命を起こしてもいいし、

アイドルになっても良い。

映画監督になっても良い。

ブロガー、

Youtuber になっても良い。

その一歩は例え小さくても、

その一歩が大きな進撃の始まりになる。

Youtube 動画を公開するれば、

後は、放置でも、

100 人、1000 人と閲覧者は増える。

結果、

貴方が伝えたいことは、

広まっていく。

感染者は増えていくのだ。

だから私も、

世界を変えようとしている。

ありとあらゆる方法で、

世界を変えようとしている。

私は元々、

催眠の技術も学んだ経験があるし、  
実はヒーラーの指導も受けたことがある。  
占いについても知識や経験があるし、  
本当に、様々なことを研究している。  
結果、その先にあるのは、  
世界を変えること。  
誰かを幸せにしていくことだ。  
貴方は世界に向けて、  
何か伝えたいことは無いか。  
この世界について、  
貴方どう思う。  
ぜひ、考えてみて欲しい。  
私は2004年からホームページ活動も行い、  
世界にメッセージを発信することは、  
極当たり前なこととして行っている。  
それは、これからもそうだし、  
これからも、  
より効果的なアプローチをしていくと思う。  
こうして書いた文章も、  
読んで貴方は何かを考える筈だ。  
その化学反応が何かの影響になり、  
それが行動に繋がる。  
ぜひ、貴方も、  
学びを活かして生きて欲しい。  
それが世界のあり方を、

変えることにもなるのだから。

・江川剛史からのメッセージ

私は平和を愛している。

平和でありたいと思うし、

人の生命を失う戦争は、  
断じて行いたくない。

でも、綺麗ごとだけでは、

上手く行かないのが、

世界情勢だと思う。

だからこそ、  
私達は、

世界について、  
それぞれ学ぶ必要がある。

様々な考えや情報を手に入れて、

正しい選択をするために、

それぞれ考えることが大事だ。

だからこそ、  
私達のような、

情報起業家も、

情報発信で、

人々に影響を与えなくてはならない。

私がこの本を選んだのは、

世界情勢を考えるきっかけを与えたいと、  
考えたからだ。

世界情勢は政治家に任せれば良いではない。

そんな考えでは、  
他国に付け込まれて、

結果、戦争に巻き込まれることになる。

日本は、強くならなければならない。

それは政治家が優れるのではなく、

国民全体が優れなければならない。

国民全体が適切な判断を下せるようになれば、

他国からの侵略にも対応出来る。

国民全員が、  
現在のステージから上がっていくことが必要だ。

そのためには、  
私達、広い意味での情報起業家が、

日本の為に戦うことが必要だ。

テレビ放送でも、  
様々な番組が放送されている。

その放送のあり方も、  
今後、変化していこう。

日本の状況をより良くしていく。

問題が起きても適切に対応する。

日本を失ってはならない。

そう私は思うのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

他人の評価を気にしては、

自分独自の世界は創れない。

他人の評価に踊らされてはいけない。

他人の評価など、

様々な理由で下がったり上がったりするものだ。

本当の価値は、

自分自身が分かっているだけでいい。

自分自身が価値あるものを生み出せば、  
その中から価値に気付く人も出てくるのだ。

それでいい。

すべてに好かれる必要は無い。

すべてを対象にしてもいいが、

すべてに必要とされなくていい。

受け入れられなくてもいい。

認められなくてもいい。

ただ、

自分を信じて突き進めばいい。

私は、何があっても生きるつもりだ。

何があっても生きる。

必ず生きる。

とにかく生きる。

そうして何があっても、  
乗り越えていく。

私の武器はネットだが、

何が何でもネットを手放さない。

ホームレスになっても、  
ネットを使うために、労働する。

世界のために貢献する。

世界をより良くする。

その想いは強いのだ。

私も変わってきた。

マスターベーションはしなくなったし、

恋愛に夢中になることも無くなった。

食事も栄養を考えながら、  
菜食主義でも生きていけるし、

さらにさらに、  
自分は進化している。

常識的ではない、

特殊な人間へと進んでいると思う。

それでいい。

常識を押し付ける人もいる。

それも言わせておけばいい。

嫌われてもいい。

稼げなくてもいい。

自分が求めた最高の価値を提供していく。

ゴッホだって生前は売れなかった。

価値は評価では決まらない。

どれだけ想いを込めて行うかだ。

歴史は証明する。

自分史が自分を表す。

私も様々なことをした。

悪いこともしたし、

良くないこともした。

それは裁きを受けたいと思う。

大事なことは、

自分の良くない過去に囚われずに、

自由に生きることだ。

人間、何でもなれる。

俳優になりたいなら、  
安い給料でもいいから、

やればいいのか。

ミュージシャンだっていい。

バンドを集めて歌を作ればいい。

ゲームを作ってもいい。

ゲームを作るツールなどは、  
ネット上にある。

やりたいことをすればいい。

自分自身を、  
更に愛せるように、

もっともっと、  
最高の自分になればいい。

私は、さらに上へ上へ目指す。

評価など気にしない。

お金なんて死後に意味は無い。

私は、永遠を見て生きる。

ぜひ、貴方も永遠を見て生きよう。

明日、死ぬかのように生き、

永遠に生きるかのように、

日々を積み重ねて行くのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

自分でゲームソフトを作って、  
販売するというのも、

面白いビジネスだ。

私もかつて、  
RPG ツクール、サウンドノベルツクールなどで、

自分オリジナルのゲームを作ったりした。

敵の強さのバランスを考えたり、

会話のテキストを考えたり、

街の作りを考えたり、

非常に楽しかった。

そうして今、

実は、私は新たに、

ゲームソフトを作成し、

販売しようとも考えている。

自分でゲームが作れるツールなども、

ネット上を探せばあるし、

その商用利用が許されているゲーム作成ツールなどもあるのだ。

こういうツールを使って、  
ゲームソフトを作るのも良い。

自分の作ったゲームソフトを、  
誰かがプレイして楽しんでもくれるなんて、

実に面白いことだろう。

ぜひ、貴方も、  
ゲームソフト作成に手を出すことも、

可能であることを知っておいて欲しい。

漫画作成ツールなどもある。

事実、私は、  
漫画作成ツールを使って、

ランディングページを作ったのだ。

ぜひ、貴方もクリエイティブなことをしてみよう。

これは出来るかなと思ったことは、

出来るかどうか調べてみよう。



意外と道は開かれていることもあるのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

私たちより高い次元の存在はいる。

それが、まだ分からない人もいるかもしれないが、

いつかは、分かる時が来ると思う。

私は、幸福にも、

自分より高い次元の存在を知ることが出来た。

私は、かつて、

全ての存在を幸せにするために生きようと考えたり、

世界を変えるために、

苦しんでいる人を救うために奮闘した。

世界は、こんなにも不幸で、

こんなにも不完全である。

それを嫌というほど、私は学んだ。

そういうメンタルな世界へ入り込んでいたからだ。

でも、

世界は、既に完全だ。

世界のシステムは、既に完成している。

生前、報われなくても、

死後、報われるようになっている。

まだ生きたいと願いながら、

死ぬことになっても、

再び、生を願うことも出来る。

貴方は、

死後の世界は、あると思いますか。

私は、あると思う。

これは、今の私だから言えることだ。

昔の私は、死後の世界があるとは思っていなかった。

死後、自分の全ては消滅し、

全てが終わる。

人間だけ、死後があるのはおかしい。

虫や恐竜には、死後があるのか。

そんなことも考えた。

でも、今は思う。

死後はある。

死後の世界はある。

私達は、永遠のスピリットであり、

大霊の愛に満ちている。

世界は、不完全じゃない。

既に完成しているのだ。

でも、

私はもがく。

世界が完成していても、

これが完璧であるとは、思っていない。

私は、多くの悩み苦しむ人を見てきた。

自殺未遂を繰り返す人もいる。

被害を受ける人もいる。

不幸な人がいる。

いつか、必ず、報われると分かっているけど、

私は、世界の為に生きる。

そうすることが、正しいことだとも私は学んだ。

もう一度言おう。

私達は、永遠のスピリットだ。

そして、死後の世界はある。

私達は、永遠に生きて、

世界に貢献するように出来ているのだ。

ぜひ、貴方も自分の使命に気づいて欲しい。

私も江川剛史でいる間に、

出来る限りの貢献をしたい。

私が死後、

どうなるかは、分からないが、

再び、生きることになるなら、

再び生きて、

世界に貢献しよう。

霊的な存在としてサポートするならば、

様々な人をサポートしよう。

それが私の使命だからだ。

[江川剛史からのメッセージ]

ネットビジネスで稼ぐ上で、

重要となるのが、

メルマガである。

メルマガでは、

面白い情報を発信する必要がある。

面白いメルマガを書くには、

メルマガを書く、  
貴方自身の知識や能力を、  
高めていくことが必要になる。

メルマガで重要なのは、  
ライティング力もそうだが、  
知識も必要だ。

知識力、情報力、そして語彙力だ。

知識があれば、

様々な知識に基づいた、  
発信が出来る。

情報力があれば、  
その情報を活かした発信が出来る。

語彙力があれば、

一番適切な言葉、

一番効果的な言葉、

強い言葉を使うことが出来る。

セールスレターなどでもそうだが、

強い言葉を使うことが必要なのだ。

例えば、リストラとか自殺未遂、

継承とか、大富豪、等々、

強い言葉を使うことで、

刺激を与えて、

心に響かせることも出来る。

文章力、言葉力を持つことも重要なのだ。

貴方は、メルマガを行っているだろうか。

ぜひ、メルマガを発行してみよう。

面白いメルマガを発行しているだろうか。

ぜひ、自分のメルマガを見つめてみよう。

自分のメルマガは、  
自分自身にも配信されるようにすべきだ。

そして自分のメルマガを、  
自分でも確認し、

そうして、自分自身の発信を磨くのだ。

ぜひ、メルマガは、  
ビジネスの強力な武器となる。

貴方も磨き続けていこう。

[江川剛史からのメッセージ]

自分で考える、というのは重要だ。

私も正しさについては、  
一時期、強く求め続けた時期がある。

その結果、

以前より正しい人間になれたのだ。

そして、  
私は様々なことを考えた。

何故、人間の血は、赤いのか。

何故、牛乳は、白いのか。

そして、『究極』とは何かを考えた。

究極、究極の愛とは何か。

そう考えた結果、

『全ての存在を愛すること』という答えを出した。

その結果、どうなったか。

私は、魚も愛し、鳥も愛し、豚も愛し、牛も愛したから、

魚肉、鶏肉、豚肉、牛肉も食べれなくなり、

それでカップラーメンで生きていくしかないと考えたが、

お湯を沸騰させたら、微生物が死んでしまう。

外を歩けば、何かを踏んでしまう。

それすら考え、

人間は消えるべき存在じゃないか。

世界は消滅すべきじゃないか。

そんなことを本気で考えたこともある。

結果、世界に不適應を起こし、

私は精神病院に入院した。

SEKAI NO OWARI のボーカルも、

精神病院経験者だ。

だから彼の書いた歌詞も、

私は共感出来る部分はあることもある。

でも、それも過去のことだ。

そんな過程もあったが、

死後の世界があることを知り、

不幸に死んだ人も報われることを知り、

神への愛を、

もう一度取り戻すことが出来たのだ。

結果、

今の私が、

究極とは何か。

そう考えると、

やはり、

『全ての存在を愛し、

全ての存在に奉仕すること。』だと思ふ。

究極の愛も、同じだ。

そう私は思ふ。

だからこそ、

この答えを胸に、

世界に不適合せずに、

生きて行こうと思ふ。

私は革命活動もしている。

私には、闘うべき情熱がある。

だから闘う。

精神病院に入院していた時、

看護師に、

『世界と闘わなくて良い。』

そう言われたが、

私は闘う。

何故なら、革命により世界が変わってきた。

それを歴史が証明しているからだ。

歴史を学べば分かる。

今のまま流されていいのかどうか。

ぜひ、貴方も頑張ってください。

私も頑張る。

共に、世界に貢献していこう。

[江川剛史からのメッセージ]

私自身は、ナンパの経験は無い。

何かで女性と出会って、

食事をしたり、  
どこかへ出かけたりしたことはある。  
それでも、  
このように、  
恋愛本やナンパの本にも、  
時折、目を通す。  
それは何故かというと、  
違う視点や思考が学べるからだ。  
恋愛が上手な人は、  
ビジネスでも成功するとされている。  
ビジネスで成功したいなら、  
ナンパを学べと言う人もいるくらいだ。  
だからこそ、  
このように、  
恋愛本、  
ナンパ本に目を通すのも良い。  
私自身は、  
女性雑誌なども、  
目を通すことがある。  
それは、  
女性の視点を知るためだ。  
様々な雑誌を読むことで、  
様々な世界観を知ることが出来る。  
このように、



様々な世界を知ることは大事だ。

私も、

一人の女性を、

愛し続けるタイプだが、

ナンパの技術には、

興味がある。

ビジネスと恋愛が繋がっているように、

様々なテクニックは、

様々な技術に繋がるのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

上達させるには、

量をこなすことだ。

質を求めるなら、

量を行うことだ。

デザインでもそう。

デザインを行う量をこなすこと。

デザインの本を大量に読むこと。

デザインを大量に見ること。

デザインの知識を大量にすること。

コピーライティングでもそう。

大量のコピーを見る。

大量のセールスレターを読む。

大量のセールスレターを書く。

見て、読んで、書くのだ。

量をこなすことで、

全体的な能力が上がり、  
質となる。

だから下手でもいいから、  
仕事を請け負うことだ。

仕事をこなすことで、  
学びながら実力をつけるのだ。

まずは、1000円でデザインでもいい。

1万円でコピーを書くでもいい。

数をこなして実力をつけよう。

ただ実践するだけではない。

あらゆる角度から学びも、  
量産することが重要だ。

メルマガもそう。

大量に発行していい。

何もネットビジネスのメルマガだけ発行しなくていい。

恋愛メルマガでも、  
政治メルマガでも何でもいいのだ。

ぜひ、大量に量産して、  
実力をつけよう。

レオナルド・ダヴィンチも多芸だった。

一つを突き詰めるだけでは、  
見えないことがたくさんある。

多を見て一を見る。

多から一を作るのだ。

ぜひ、量産マインドを持とう。

[江川剛史からのメッセージ]

健康において、

大事なことに、

睡眠をしっかり取ることがある。

睡眠不足になることで、

自律神経のバランスも崩れるし、

精神病が発症することもある。

夜になると、

集中して作業が出来る。

そう考える人もいるが、

それはダメだ。

規則正しい生活をするのが大事なのだ。

ちゃんと規則正しく、

夜に寝て、

朝に起きる。

そして起きたら、

水をコップ一杯飲む。

それが大事だ。

規則正しい生活をしないことで、

失う健康は、

あまりにも多い。

健康は、健康を失ってから、

その大事さが分かる。

ぜひ、今の内から、

健康を意識し、

健康的な生活をしよう。

成功する上でも、

健康は必要不可欠な条件だ。

[江川剛史からのメッセージ]

私は、大量絶滅についても研究している。

例えば、  
ビックファイブと呼ばれている、

5つの大量絶滅。

それを研究し、

今後、世界が絶滅の危機に瀕することが無いか、

あるいは、危機に陥った時に、

どうすればいいか。

そのための研究をしている。

興味ある方は、

大量絶滅、スーパーブルーム、スノーボールアースなど、

検索してみると良いだろう。

そして感染症も、

人類絶滅の危機になる可能性のある、

危険なカテゴリーだ。

例えば、

感染症の歴史を見ると、

黒死病では、推定 3000 万人の死者が出たという。

16 世紀、華北では、1000 万人がペストで亡くなったとされているし、

結核においては、現在も 20 億人の人が、

結核菌に感染しているとの情報もある。

このように感染症も、

人類を脅かす危険性がある。

このような感染症にかからないためには、

衛生環境を整えること。

そして、

医療機関の充実や、

ワクチンが必要となる。

人類を死に追いやる、

感染症についても、

今後も研究が必要だ。

[江川剛史からのメッセージ]

人間は、永遠の命を求めることがある。

ドラゴンボールのフリーザも、

不老不死を願ったが、

長い人生を手に出たら、

様々なことを研究出来る。

それに魅力を感じる気持ちも分かるが、

私は、今は不老不死には興味ない。

今の寿命で丁度いいと感じている。

何故なら、魂は永遠不滅であり、

人間は死後も、

魂は生き続けるからである。

つまり死後の世界はある、ということだ。

私は、様々なことを勉強したいと考えているが、

死後の世界にも、

学校があるらしい。

ありとあらゆることを学ぶための施設がある。

本もあるらしい。

だからこそ、  
現世で全てが終わるのではなく、  
死後も永遠に生きるのだから、  
焦らず、学び、  
焦らず進化することだ。  
このメルマガでは、  
私は何でも霊的な話をしている。  
これは、話そうと思って話したわけではなく、  
本を読んだ結果、  
必然的に話すことになっているだけだ。  
私が、死後の世界はあると、  
話しても、疑う人はいるだろう。  
でも、  
私は、確信を持ってあると言っている。  
その理由は、話せないのだが、  
私が死後の世界を信じるに足る、  
経験があるから、  
死後の世界を信じている。  
霊はいる。  
それは間違いないことなのだ。  
もし、霊的なことに疑いがある方は、  
霊的な本を読むことをしてみると良いだろう。  
スピリチュアルにも様々な本があり、  
全てを手放しにおすすめ出来ないが、  
もし、貴方が、

本当のスピリチュアルな本に出会えたとしたら、

その時は、神の偉大さに気付くだろう。

全ては公平だった。

全ては公正だった、と気付くのだ。

そして死後も生きれることを知り、

貴方は永遠を知るのだ。

私も過去の自分は、  
死んだら全ては終わりだと思っていた。

でも今は違う。

そうなったことには理由がある。

それを、ぜひ、考えて欲しい。

疑わしいものは、嘘だと、  
決め付けるのではなく、

知らないことは調べてみるのだ。

このようなことを書くことで、  
霊的な自覚が手に出来ることを、

私自身にも、  
伝えながら、

貴方にも伝えるとしよう。

[江川剛史からのメッセージ]

正しいことを言えば、  
理解されるとも限らない。

人それぞれ、  
正しさは違うのだ。

だから、

自分は正しい。

だから間違っていないと思って、

行動しても、

それが相手に通用するかは分からない。

それ程、

世界は様々な人がいる。

外国だけではない。

日本の中でも、

様々な人がいるのだ。

それはニュースを見て、

事件が起きていれば、

分かることだし、

インターネット上の SNS の書き込みを見れば、

色々な考えの人間がいることが分かるだろう。

だからこそ、

こういう様々な人がいる世界の中で、

どう生きて、

そして、

どのように、

より良くしていくか。

それが貢献者としては大事である。

教育が十分に行われていない国もあるし、

教育自体を否定している人もいる。

そういう世界の中で、

自分の命を失う危険性もある世の中で、

どのように上手く、

貢献していくかが大事なのだ。



世界の為に生きることには、

頭を使うことが必要だ。

冷静になること。

冷静に考えて、

状況を読むことが大事だ。

世界には様々な正しさがある。

だからこそ、

その中で、

世界に生きる人は、

自分の身を守りながら、

世界の為に、

様々な方法で、

貢献することが大事なのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

分かっていると思っていること。

それが本当の知識の探求を阻害させる。

まず、

自分は何も知らない。

何も分かっていないと思うことが大事だ。

例えば、

世界情勢も知らない。

日本も知らない。

アメリカも知らない。

北朝鮮も韓国も知らない。

何もかもしれない。

文学も知らない。

科学も知らない。

人の心理も、

貴方の親も、貴方のパートナーも知らない。

何も知らないのだ。

自分は知らない。

分かっていないと自覚することで、

本当に知っていくことに近づいていく。

無知を知ること。

そこから全てが始まるのだ。

貴方が知っていると思っていること。

実は貴方は知らない。

ニュースでは限られた情報。

テレビに出る芸能人の姿も、  
テレビで映し出された部分だけ。

本に書かれたことは読めるが、

本に書かれていないことは知れない。

人間は、全ての本を読む時間が無い。

自分は何も知らないのだ。

それを知った上で、  
学んでいくことが大事だ。

真っ白な白紙の紙だからこそ、

何でも染めることが出来る。

真っ白に全てを見よう。

知って知って、  
そして無知を知ろう。

人は見せていないこと。

言わないこともたくさんある。

自分は分かっていないということを、  
忘れないでいよう。

[江川剛史からのメッセージ]

人間は、欲望をコントロール出来る。

私もかつては、  
欲望のままに生きていた。

欲求階層説に則り、

自己実現ステージでいるために、

ひたすら下層の欲求を満たすようにしてきた。

でも、欲望をコントロールすることも大事であると、

考えるようになった。

例えば、  
マスターベーションなど、

性的な処理があるが、

そういう行いも、

行わないようにする。

男性の殆どは、  
マスターベーションをするのが普通だが、

そういうマスターベーションも行わないようにする。

性欲をコントロールするのだ。

私も性欲には、翻弄され続けたが、

今は、コントロールするようにしている。

マスターベーションをしない。

それは、霊性を高めるためだ。

人間には獣のような本能があるが、

それをありのままに、  
本能通りに生きてはならない。

仏教でも、  
性欲コントロールは、

基本とされている。

一部、密教では、

ありのままに生きることを善とする部分があるが、

性欲はコントロールすべきだ。

だから、貴方も、

性欲は、コントロールすべきだ。

マスターベーションはしないようにしよう。

そう考えることも意識して欲しい。

このマインドは、  
必ず貴方に良い報いを与えてくれるだろう。

あるネットビジネス創成期に、  
数十億稼いだ起業家も、

マスターベーションは、  
禁止できるなら禁止した方が良いと言っていた。

このように、  
性欲コントロール出来るようになると、

また新たなステージに立てるので、  
頑張っ欲しい。

人間のステージというのは、  
お金を持っているかどうかだけではない。

お金は死後、全てを失うが、

学びや霊性は引き継がれる。

だからこそ、

天に宝を積むのだ。

・江川剛史からのメッセージ

男性は、受容を求めている。

褒められて、認められることを求めている。

私も、一人では生きていけない。

自分を支えてくれるパートナーが、  
必要不可欠なのだ。

私が、新商品を作った時にも、

これが出来たよ。

今は、これを作っているよ。

そんな作業過程を、

パートナーに伝えたりする。

そうして聞いてくれるだけで、

私は、頑張れるのだ。

貴方は正しい。

貴方は頑張っている。

貴方は成功するよ。

そうやって、認められることを、

男性は求めているのだ。

逆に、

女性は、愛を求めている。

愛されている実感が欲しいのだろう。

私も大学生時代に付き合っていた恋人がいたが、

全く、

「愛してる。」とか私は伝えなかった。

結果、11ヶ月目で別れ話をされたのだ。

私は、このことから強く学び、

次に付き合った恋人には、  
たくさんの愛を伝えた。  
『愛してるよ。』と何度も伝えたし、  
彼女が電話したいと言った時には、  
何時間でも話を聞いたし、  
性的な交流もしたし、  
自分にとって、貴方は必要だよ。  
貴方を愛しているよ。  
そういうメッセージを繰り返し伝えた。  
結果、10年以上付き合い続け、  
今も私のパートナーでいる。  
私も、恋愛においては、  
完璧だとは思っていないが、  
相手のことを、考え、  
愛を伝えてきた。  
貴方は、愛するパートナーに、  
愛を伝えているだろうか。  
いつから伝えなくなったか。  
そして伝えないままを続けて、  
この先どうなるのか。  
ぜひ、愛を伝えて欲しい。  
貴方が大事であると伝えて欲しい。  
心を抱きしめること。  
ぜひ、貴方もして欲しい。  
愛はいつでも、貴方の絆を支えてくれる。

[江川剛史からのメッセージ]

私もオタクだ。

大学生時代からホームページを運営していたし、

悩み相談を受けていた時期もあるし、

本も、結構読む。

ビジネス書も毎日のように読むし、

哲学書も好きで読んでいる。

新たな視点、考え方を手に入れるのが、

何より楽しく、

本に囲まれていきたい。

本とパソコンさえあれば良いと思っている。

でも、私も女性が必要だ。

心の支えとなる、

愛するパートナーが必要なのだ。

私が恋愛で大事だと思うことは、

配慮だと思う。

相手のことを考えること。

自分を押し付けないということだ。

例えば、

子どもは、作りたいとか考えている？

毎日、食事を作らなくてもいいよ。

家事は分担するよ。

DVはしてないよね？

こうやって、相手の気持ちを考えて聞いてみる。

子作りをどうするかは、  
二人で決める。

一方的に決めてはならない。

家事の負担も考える。

自分を振り返るために、  
DVをしてないか聞いてみる。

こういう配慮が重要なのだ。

一方的に自分を押し付けるのではなく、

相手の心や準備を待つ。

その上で、

愛してるよ。

そうやって愛の言葉を伝える。

私も恋人から、  
毎日、

愛してるのメールが届いて、

これほど大きな支えになったことは無い。

何があっても別れることが無い。

離れられない二人。

絆は、年月を重ねれば、  
深まるばかりだ。

貴方はパートナーを愛しているか。

ぜひ、愛していると伝えよう。

自分から愛することをしよう。

私もビジネスで成功を目指していたのは、

愛するパートナーとの生活のためでもあった。

愛する人がいるというのは、

これほどにも自分の力になるのだ。



ぜひ、相手の力になれるよう、

貴方も相手を愛し、支えよう。

[江川剛史からのメッセージ]

今の時代、

音楽の創作も、

芸術も、

自由に学び、

自由に創造し、

自由に発表する機会がある。

作品を作り、

ウェブサイトで発表してもいいし、

Youtubeなどで流してもいいのだ。

自分は学んでいないから、

出来ないと考えている人もいるだろう。

しかし、

ちゃんと学ぶことを始めて、

創作活動をすれば、

自分自身の作品は作ることが出来る。

大事なことは、

諦めずにチャンレンジすること。

挫折しても、

また違った方法で挑戦し、

また挫折したら、

また違う方法で挑戦する。

挫折はしても良い。

その経験も未来に生きるのだ。

この世界は、

可能性に溢れている。

ぜひ、

自分の可能性を信じて、

自由に自分の作品を、

創造しよう。

[江川剛史からのメッセージ]

人は言葉で変わる。

私自身、名言に嵌った時期があり、

膨大な名言を読んで学習した経験がある。

ニーチェやソクラテス。

アインシュタインからマザーテレサ。

イエスキリストから釈迦まで。

様々な偉人の言葉を自分自身にインプットした。

結果、私は、別人のように変わった。

言葉に影響を受け、  
言葉で自分が変化したのだ。

それから私は、  
言葉の力に興味を持つようになった。

そうして私は催眠技術を取得し、

催眠技術を駆使したライティングが出来るようになった。

私は、物事を教える時に、

催眠技術も使うし、

オペラント条件付けも使う。

言葉は、マインドコントロールにも使えるくらい、

強力な武器だが、

教えを伝える時にも非常に役立つ。

そして言葉は、  
自分で自分に投げかけるのも効果的だ。

私は、アファメーションについても研究を深めたし、

サブリミナル CD も持っている。

プラス思考のサブリミナル CD や、

成功イメージを焼き付けるサブリミナル CD だ。

こういうサブリミナルも、

テレビ放送で使用するのを禁止にするほど、

実は効果がある。

事実、私もサブリミナル CD を聞いた後、

驚くほど効果がある。

集中力のサブリミナル CD を聴くと、  
集中力が異常に高まる。

雑念が邪魔しなくなる。

そういう効果があるのだ。

だからこそ、

言葉の力は、ぜひ、  
意識して使って欲しい。

ただし、言葉の力は、  
使い方を誤ると、

危険なことにもなる。

ぜひ、正しい使い方、  
良い使い方をして欲しい。

世界は、言葉で変わってきたのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

英語を活用して、

何かをしたいなら、

英語をコツコツ学ぶことが大事だと思う。

英語の会話を出来るようになりたいなら、

英会話を学べば良いし、

英文を読めるようになりたいなら、

英文を学んだり、  
どんどん読んでいくといいと思う。

私は大学で英文法を学んだが、

それが意外にも、

コミュニケーションや日本語の文を、

書く時にも役立っている。

英語で文章を、

大学時代には書いたが、

その経験が、

今のメルマガの記事を書く際にも、

役立っている。

違う言語で文章を書く経験というのは、

自分の中では役立っている。

ライティングを学ぶ上で、

英文法を学んでみるのもいいだろう。

英語を学んでいる人は、

世界にたくさんいる。

その世界で生きて行きたいなら、  
英語を学ぶことも、  
可能性を広げる上で良いだろう。

[江川剛史からのメッセージ]

私達人間は、  
生きていく上で、

肉体を用いている。

だからこそ、  
人間の身体について、

知っておくことは重要だ。

健康診断などをしても、  
自分のデータが分かる。

その時に、  
どこに問題があるかを、  
知っておくことが重要なのだ。

幸せに生きていくため、  
夢を実現するためには、

健康でいることは、  
とても重要なことだ。

だから、  
健康について、

調べたり、

健康についての本を読むことも、

するようにするといい。

貴方は生きている間、  
自分の身体と共に、

生きていくのだ。

だからこそ、

健康的に生きれるよう、

食べるものも適切に選択して、  
食べる量も適切にして生きよう。  
健康は失ってからでは遅い。  
健康を維持しよう。

[江川剛史からのメッセージ]

強い志を持っていたとしても、  
時に、強い逆風に見舞われ、  
志を失うこともある。

私も、

かつては、

全ての存在を幸せにするために生きていた。

全ての存在とは、

人間だけでなく、

全ての生物も含む。

そうして、

ホームページ活動で、

反戦運動をしたり、

動物の命を守る活動をしたり、

自殺防止活動、

相談活動も行った。

でも、

活動をしていく中で、

私は心を何度も病み、

精神病院にも入院した。

これ以上、

誰かの為に生きてばかりでは、

自分の命が持たない。

自分自身を大事にしようと考えて、

私は、ネットビジネスを、

本格的に始めた。

でも、

今は、再び、

世界の為に、

誰かの為に生きている。

かつての自分とは、

比べ物にならないほど、

考え方も進化し、

新たな信念で生きている。

信念や志も、

失う時はある。

それは、

神様から頂いた試練なのだ。

でも、

貴方は、

今までも、

これからも、成長していく。

過去は無くならない。

だから、

信念も志も失っても、

また信念、志は、  
復活し、  
さらに強力になるのだ。  
貴方も、  
様々な試練が待ち受けているだろう。  
でも、  
貴方は、それを乗り越えることを、  
期待されているのだ。  
ぜひ、頑張って乗り越えていこう。  
この世界は、  
素晴らしいもので、  
溢れている。

[江川剛史からのメッセージ]

地球は、過去に5回の大量絶滅を経験している。  
人類が絶滅する可能性には、  
様々なものがある。  
巨大隕石の衝突、超新星爆発によるガンマバースト、  
氷河期によるスノーボールアース、  
そして火山の大量噴火、  
酸性雨、  
そして酸素濃度の大暴落である。  
このように人類を、  
死滅させる可能性のあるものは、  
いくつもあるし、  
実際に死滅する可能性はある。



その中で、

人類はどう生きていくか。

どのように考え、

どう生きていくかが大事だ。

その上で、私の考えは、

死滅するまで、世界に貢献することである。

たとえ、終わりが来ようとも、

それまで何かの為に、

生きることが大事だと、

そう思うのだ。

そう思い、

私はビジネスをしている。

情報ビジネスをしている。

ビジネスを教えるだけではない。

世界を変えるために、

世界を救うために、

誰かの為に、

生物の為に、

ビジネスをしているのだ。

何をやるべきか。

何を伝えるべきか。

それを知るには、

学ぶしかない。

だから私は、

学びながら伝えているのだ。

私も、いつ生命を失うかは分からない。

だが、まだ時間はある。

その中で、

世界の為にもがき続けるつもりだ。

そして、  
貴方はどうする。

貴方も、

この情報を得た上で、

貴方の人生を生きて欲しい。

私も自由に、

そして、

貴方も自由に生きて欲しい。

そうして、

世界の為になることを、

私は願っている。

[江川剛史からのメッセージ]

私は、かつて中学校の教師を目指していた。

その私の視点から見た、

日本の今後の教育について、  
どう変わるべきか話したいと思う。

まず教育は、  
全体教育から自立的個別教育に、  
変わっていくべきだ。

まず基本カリキュラムを設定し、  
教科書と参考書と問題集を渡す。

その上で、  
一人ひとり自分のペースで、

自立的に学習を進めるのだ。

そして早い人は、  
どんどん自分で学習を進め、

自立的学習により終了出来るカリキュラムと、  
多人数制カリキュラムの双方のカリキュラムを終了した場合、

次の学年へ一年経たずに進級出来る。

このようなシステムへ変えるべきだ。

はっきり言って、  
教師の全体教育での平均的教育では、

今後の世界で、  
最も優れた国にしていく上で、

不十分だ。

本当の学習というのは、  
自立的に行われるものだ。

だから自立的に教科を学習し、

多人数で学ぶべきカリキュラム、

例えば、運動会や修学旅行や、  
人間関係教育など、

そういうものは多人数で、  
集まって行い、

どんどん学習を進めたものは、  
どんどん進級した方が良い。

日本に天才と呼ばれる人間が、  
十分に多くないのは、

この早期進級制度が無いからだ。

年齢が若いうちに、  
大学や大学院で学ぶ人間は現れることも非常に重要だ。

それに、頑張れば、  
早く進級できると知れば、

人は、努力するようになる。

結果、学習効果が高まるのだ。

しかし、どんどん進級しては、  
心などが育たないのではないかと、

考える人もいるかもしれないが、

対話活動、集団学習、道徳など、

それ相応の教育時間を用意すれば良い。

10年ぶりに教員採用試験の参考書を見たが、

はっきり言って10年前と、

全然進化していない。

ただ、カウンセリングについての項目が増えたくらいだ。

こんな教育では、  
日本は、世界のトップにはなれない。

ある親が、  
子どもが小さい頃から、

様々な教育を施していた。

様々な知識の機会に触れさせることは重要だ。

だから選択科目や自由科目、  
自由研究などのカリキュラムを用意し、

個人の個性に合わせた自立的学習を身に付ければいいのだ。

そうなると、教師はいるのかということになるが、

教師は、全体教育と個別指導教育を行えば良い。

本当に優れた教育を行うには、  
どうすればいいか。

どうすることで、  
一人ひとりの可能性が広がるか。

それを真に考えた教育を行うべきだ。

私も自分の教育理念は、

広報して行こうと思う。

更に優れた真の教育が行われなければ、  
いじめも不登校も、

生きる力も、学習能力も知識も上がらない。

教育を変えることを、  
一人ひとり意識して欲しい。

そしてビジネスをしている人は、  
自分のビジネスで、

教育活動をして欲しい。

ビジネスをする上で、  
教育分野を学んでおくのも、

非常に有用だ。

教育を変えることと、  
外から教育を変えていくこと。

時代は変えられる。

その潮流を作っていこう。

・江川剛史からのメッセージ

この世の中には、  
災害に合う人、合わない人がいる。

地震が起きて死ぬ人もいれば、  
死なない人もいる。

何故、あの人は死んだのだろうか。

あんなに良い人だったのに。

神様はいるのだろうか。

そう思う人もいるだろう。

私の答えだが、

神様はいる。

それは私の経験上でもそうだし、

世の中を見て欲しい。

人間だけが、あまりにも進化している。

これは神の意志として、  
普通に感じられるだろう。

神様はいる。

それは私の今までの経験上、  
かなりの高い確率でいると思う。

しかし、何故、  
不条理に死ぬ人と死なない人がいるのか。

それは、神様でも守護霊でも、  
どうにもならないことがあるから。

それに尽きる。

勿論、この世界は、  
因果応報。

良いことをすれば良い報いがあり、  
悪いことをすれば悪い報いがある。

しかし良いことをしていても、  
不幸に死ぬことはあるのだ。

貴方を守る霊もいるだろう。

何人もいるだろう。

それでも不幸に死んでしまうケースも、  
避けられないケースもあるだろう。

それは仕方ないことなのだ。

でも、そこで伝えたいことがあるのだが、

私の研究成果によると、

人は現世で報われなければ、  
来世で報われる。

必ず、相応の報いがあるというのが、

この世界の摂理だ。

少なくとも私が信じているスピリチュアルではそうだ。

死後の世界は高い確率である。

それは私の経験上、  
それを信じるに値することがある。

だからこそ貴方に伝えたいが、

死んだ人も死後の世界で、  
それ相応の世界で生きている。

良いことをしていれば、  
来世で報われている。

全ては、公正な結果が待っている。

だからこそ、  
死んだ人のことを心配せずに、

自分の使命を全うしよう。

死後の世界は、高い確率である。

だから死んだ人とも縁があれば、  
また会える。

そして貴方も死後の世界がある。

だから、それまで、  
この世界で一生懸命に生きよう。

生きて貴方の使命を全うすることが、  
貴方が生まれた意味なのだ。

それが私のスピリチュアルの研究成果の一つだ。

ぜひ、貴方も、  
公正なこの世界で報われるよう、

良いことをたくさんしよう。

[江川剛史からのメッセージ]

人は花ばかりを見て、根について考えない。

結果や成果ばかりを見て、  
それを生み出した本人について知らない。

花も大事だが、  
大事なことは根に眠っている。

根にも視点を当てることが大事だ。

例えば、  
私も様々な思考を持った。

かつては、  
『全ての存在を幸せにする。』

そんな難題を掲げて、

私はホームページ活動と相談活動をして来た。

何故、  
私は、全ての存在を幸せにしようと考えたのか。

それは、あるきっかけで、  
自殺サイトに訪問し、

悩み苦しんでいる人たちを知ったからだ。

様々な自殺サイトを訪問した。

『明日、死にます。』

そう書かれた過去の記事も見かけた。

そういう一人ひとりが死なないように、

私は相談活動をした。

掲示板にも返事を書いたし、  
メールでも相談を受けた。

そうしていく中で、

世界には、  
こんなにも不幸な人がいるということを、  
嫌でも知ったのだ。

そうしていく中で、  
私は究極の答えを求めた。



究極とは何なのか。

究極の愛とは何なのか。

その答えの先には、

全存在を愛することに繋がっていた。

人間だけでなく、  
全生物を愛することに繋がった。

そうして、  
『全ての存在を幸せにする。』という、

難題な目標を掲げたのだ。

結果、生物を愛した私は、  
豚肉や鶏肉や魚肉が食べれなくなり、

精神病院に入院することになったのだ。

こうやって、  
『全ての存在を幸せにする。』

この言葉にも様々な根があるのだ。

そして私は、  
精神病院で、大量の読書をし、

医者になるために研究をしていた、  
看護師のカウンセリングを受けて、

私は自分の幸せを求めるようになった。

そうしてネットビジネスを始めて、

ネットビジネスで稼げるようになった。

そうして、  
再び、『世界を変えるために生きる。』

この答えを旨に、  
ビジネスをしているのだ。

『相談活動を今はしていない。』

この答えにも、

ある存在から、  
そういう活動をするより、  
ビジネスに集中したほうが良いと、

助言を受けたからだ。

こうやって、

人の節目や答えにも、

根がある。

みんなに根がある。

私も父と母がいたから、  
ここまで生きていくことが出来た。

さらに大霊がいたから、  
私は存在することが出来た。

根には両親がいる。

根には神様がいるのだ。

私も、これから様々な花を咲かせていく。

他の人も咲かせていく。

貴方も咲かせていくだろう。

その花の下には、根があること。

根があるからこそ、枝が生まれて、  
花が咲く。

そのことを忘れないでいて欲しい。

誰でも自分の力だけでは、  
生まれていないのだ。

[江川剛史のメッセージ]

日常で活かせる医学を学ぶことは非常に重要だ。

人間が幸せに生きるためにも、

成功するためにも、

使命を全うするためにも、

健康であることは重要だ。

体、精神、魂の健康が重要なのだ。

だからこそ、  
アーユルヴェーダのような医学を学ぶのも良い。

東洋医学、西洋医学、家庭の医学を学ぶのも良い。

健康に目覚めないことで、

因果応報、

病気に繋がることもある。

だからこそ、

今から医学に目覚めよう。

病気になってからでは遅い。

今から自分を健康に保つため、

エネルギーに溢れるため、

医学を学ぶのだ。

ぜひ、貴方も医学を学んで欲しい。

それが貴方の人生を、  
変えることにもなるのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

地球が誕生し、単細胞生物が生まれ、

分裂して多細胞生物が生まれ、

様々な生物が生まれていった。

そうして恐竜が生まれ、

恐竜が滅び、

旧石器時代へと進んでいく。

旧石器時代は約 200 万年前だ。

それから人間は、  
様々な進化してきたが、

神というのは、  
本当に気長な存在だと思う。

神に人格を求めるのも変だが、

私が神だったら、

最初から完璧な世界を創る。

完璧というか、

幸福度の平均が高い世界を創る。

そうして、まず、  
食物連鎖の無い世界にする。

生物と非生物を創り、

非生物から様々なものを創れるようにする。

人間が歩いても、  
何かを踏み潰すことも無い。

脆い生物を創り、  
殺すことにならないように、

私だったらするだろう。

それ程、私は食物連鎖というものは、  
好きじゃない。

ただ、ある霊的書物には、

貴方が最も嫌うようなシステムこそ、  
世界を構成する上で、

最上のシステムというようなことが、  
書かれていたりもした。

だから、  
私は神の意志というものは、

まだ分からない。

あるアニメでは、

世界を終わらせて、  
また再び、  
アダムとイブとして、  
始めからやり直す世界を求めたりしているが、  
私は違った。  
ある時期は、  
本当に世界は消滅すべきだと思った。  
だから再びアダムとイブで始まることもなく、  
完璧に世界は終わらせるべきだと考えたこともあった。  
今も、私は全生物の運命を知っているわけではないから、  
答えは出ないが、  
ただ私は、  
今以上に良い世界にすること。  
社会に貢献することをしようと考えている。  
例えば、  
肉食を避けるようにする習慣を広めるとか、  
生物に対する愛を広めるとか、  
そういう活動も、更に深めて行こうと思う。  
私も、様々な未練があったが、  
その未練も日々、無くなっている。  
いつ死んでも良い状態になる可能性もある。  
ただ、生きている以上、  
社会に貢献する。  
私の思想には、  
未だ、全生物を愛するという気持ちがある。  
だから人間だけでなく、

他の生物のためにも貢献したいと思う。

そういう活動にも、  
力を入れて行こうと思う。

[江川剛史からのメッセージ]

私も勿論、男性だから、  
アダルト動画くらいは、見たことがある。

でも、何故、  
AV に出演する女性がいるのかは、

全く私には理解出来ない。

AV にも色々なものがあり、

屈辱的なものや、  
残酷なものまである。

酷い映像も中にはあるのだ。

だから何故、  
そういう業界に出演するのかは、

私には分からない。

アダルト業界は、  
今後、縮小され、

最終的には、  
無くなると私は思う。

時代が流れていけば、  
そうなると思う。

性に関する法律が制定されていくように、

今後、性的な産業についても、

考え方が進化していくと思う。

私は女性が好きだし、  
性欲もある。

でも性欲をコントロールしているし、

マスターベーションは禁じている。

人間には、様々な人間がいて、

高齢者が風俗に通うことも、  
少なく無いという。

でも、

正しいあり方は追求すべきだと思う。

残酷な AV は無くなった方が良い。

そういうものに出演するのは、  
止めてもらいたい。

そう私は思う。

人間には、本当に、  
様々なものがあるが、

成長した方がいいと思う。

貴方が成長しないことは、  
自然と周りに害を与えていることと、

同じことなのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

ダンテの神曲では、

罪から裁きを受ける、  
地獄の描写、

罪を浄化し、  
天国へ行くための煉獄。

この二つの描写がある。

私自身のスピリチュアルの研究においては、

霊界も様々なものがあるらしい。

地獄は無いと聞いたことがあるが、

この現世が天国であるかのように思う、

低層の界も霊界にはあるようだ。

だから、ここに書いておくが、  
自分の霊性を高めることは、  
今からしておいたほうがいい。

霊については、  
霊界で学ぶより、  
この現世で学ぶ方が、  
学びやすいらしい。

霊性を高めるためには、  
何をすればいいのか。

それは利他だ。

人の為に役立つこと。

そして自分の利益を考えずに、  
相手の為に行動することだ。

例えば、

肉が食べたくても、  
殺される動物のことを考えて、  
菜食にする。

それも利他だ。

肉を食べたい自分を抑えて、  
肉を食べないのも、  
相手を思う心からだ。

そういう行いを、

今から積み重ねることが大事だ。

私は人間には自由は無い。

利他のみすべきだという話を聞いたことすらある。



つまり、  
それだけ利他はすべきということだ。  
ぜひ、貴方も、  
誰かの役に立つよう、  
行動して欲しい。  
たった一人でも、  
幸せにすることが出来れば、  
それは生きてよかった、ということだ。

[江川剛史からのメッセージ]

私も学生時代は、  
よくゲームをやった。  
RPG が大好きで、  
ゲームの世界で、  
いくつもの世界を救ってきた。  
ゲームから様々なものを学んだ。  
ファイナルファンタジー 4 では、  
暗黒騎士セシルが、  
自分自身と闘い、  
自分に打ち勝ち、  
パラディンにクラスチェンジをする。  
このストーリーから、  
自分も、  
暗黒な自分に打ち勝とうと、  
思ったものだ。

ファイナルファンタジー 6 では、

世界が崩壊する。

でも、

崩壊された世界の中で、

人々は再び、

希望を持って生きる。

希望の大切さを学んだ。

ロックマンXでは、

ゼロが自らの命を賭けて、

ヴァヴァに攻撃する。

そうして自分の武器を、

主人公のロックマンXに託す。

テーマパーク2では、

高額商品を買わせる裏技を使うことで、

一気に稼げた。

でも、買った人から、

ぼったくりだと言われて、

不満に思われた。

超魔界村では、

たった一人で、

鎧を剥がされながらも、

大魔王に立ち向かい、

姫を救う。

ドラゴンクエスト3では、

ラスボスに、

再び、世界に恐怖を与える存在が世界に現れるが、

その時、

勇者である自分は、

既に寿命が尽きているという言葉が遺される。

ドラゴンクエスト4では、

必ずしも悪くないモンスターや魔王に出会う。

ライブアライブでは、

道を踏み外したら、

勇者も魔王になると知る。

ザ シムズ2では、

自分のリアル家族を育てて、

自分の家族を客観的に見ることが出来た。

グランツーリスモでは、

100%安全な環境で、

ドライブを楽しめた。

EXCEED GOD という、

自分自身の人生をテーマにした RPG を、

RPG ツクールで作成し、

Youtube へ公開した。

様々なゲームで、

私は学んだ。

世界を救おうとするマインドや、

冒険へ向かう勇気、

経験値を貯める向上心、

道徳、正義、  
そして、  
自分自身の人生を変えるきっかけとなった。  
私にとって、  
ゲームはなくてはならないものだったし、  
今も、  
学びや情報教育のネタとして、  
ゲームをしている。  
私も様々なゲームで学んだ。  
だからこそ、  
貴方も、  
ぜひ、  
ゲームで学んだことを、  
思い返して欲しい。  
そして学びに成るような、  
中身のあるゲームを、  
時にはプレイして欲しい。  
私も様々な勇者となり、  
冒険を旅した。  
その経験があるからこそ、  
私は、世界のために生きるという、  
人生を、  
今、生きているのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

人には、様々な視点がある。

10代の視点と60代に見える世界は違うし、

数学者と文化人類学者では、  
見える世界が違う。

だからこそ、  
様々な視点を得るために、

様々な本に目を通すことが重要だ。

私は完全な文系だが、

様々な分野の本を読んだことがある。

例えば、  
心理学、恋愛心理学、臨床心理学、  
カウンセリング心理学、社会心理学、  
販売心理学、催眠、洗脳、

セールス、経営書、コーチング、  
兵法書、自己啓発書、時間管理、インターネット、

スターバックス、ドトール、

倫理、日本史、世界史、地理、  
現代社会、文化人類学、

科学、生命科学、クローン、自然科学、生物、  
犬の心理、猫の心理、

哲学、文学、童話、美術、文章術、

コピーライティング、マーケティング、

宗教、スピリチュアル、教育、等々、

様々な分野の本を読んだし、

イエスキリスト、ニーチェ、釈迦、

松下幸之助、稲盛和夫、スティーブジョブズ、

神田昌典、平秀信、与沢翼、小玉歩、

坂田智康、新田祐士、

だいぼん、小雪、七星明、川島和正、

和佐大輔、原田翔太、長倉顕太、  
カールロジャーズ、国分康孝、  
ユング、ソクラテス、苔米地英人、  
パワブロ、エンタメ、鳥山明、  
ジェームススキナー、スティーブン・R・コヴィー、  
クリス岡崎、アンソニーロビンズ、  
等々、

様々な人からも学んでいる。

そうやって、  
様々な本や人から学ぶことで、  
その人の視点を学ぶことが出来る。

そうして影響を受けて、  
貴方自身の見方が出来るのだ。

様々なものから学び取り、  
貴方自身を進化させよう。

ネットビジネスの世界を見ると、  
お金に目が眩んだ人ばかり見かけるが、  
そういう視点程度しかない人は、  
継続的に、そして最終的に大きく、  
稼ぐことは出来ないだろう。

ネットビジネスにいる人は、  
ネットビジネスという狭い世界ばかり見ているが、  
世界は広い。

そして世界は、  
ネットビジネスだけではない。

私も、実は様々なビジネスを行っている。

ネットビジネスという狭い視点では、

考え付かないようなビジネスも、

複数行っている。

大事なことは、

世界と世界を繋ぐこと。

そして世界の境界を無くし、

融合させること。

世界と世界を行き来することだ。

ビジネスチャンスというものは様々ある。

稼いでいる人、専門家もたくさんいる。

ぜひ、世界を渡って、

学び、学習し、取り入れて欲しい。

様々なことから学べるし、

人間に価値は、お金が全てじゃない。

お金は死んだら無くなるが、

知識や霊性は消えることは無い。

永遠に引き継がれるのだ。

ぜひ、貴方も、

様々なことを学んで欲しい。

向上心を持ち続ければ、

必ず、世界も未来も、

開けていくのだ。

[江川剛史のメッセージ]

人間は、欲望を持ち、

良い部分も悪い部分も持っている。

もし、今の世界に、  
法律が無くなったとしたら、どうなるか。

法律が無くても、  
自分を律することが出来る人もいるが、

そうでない人もたくさんいる。

法律が無い世界で、貴方は喧嘩できるか。

法律が無い世界で、  
女性は一人で夜道を歩けるか。

人間には、邪悪な部分がある。

だから法律で抑制する必要がある。

刑法があるから、犯罪も行われにくいのだ。

そして法律は、  
知らなかったで済まされない。

だからこそ、

法律を自分で調べることを行うべきだ。

私も一時期、法律に興味を持ち、

憲法から刑法、  
教育法から国際条約まで、

調べたことがある。

法律を知ることは、  
自分が知らぬ間に行うことになってしまう、

違法行為を事前に止めることが出来る。

法を犯せば、逮捕されて刑務所へ入れられるのだ。

だからこそ、法律を学ぼう。

正しさを求め、

倫理観を磨くことも大事だが、  
法律を知ることも大事だ。

そうして、



正しい人間として生きよう。

正しい人間が増えれば、  
正しい国家として生きていけるようになる。

今の日本はどうだろうか。

ぜひ、正しさを求めて、

国際感覚を持って、

国際的視野で、今の世界を見て欲しい。

[江川剛史からのメッセージ]

ビジネスにおいて、

更なる成功を手にするには、

エネルギーを意識して、

生きていくことが重要である。

これを食べることは、

エネルギーとして良いことであるか。

この言葉を使うことは、

エネルギーとして良いことか。

この気持ちでいることは、

エネルギーとして良いことか。

自分は、

相手からエネルギーを奪っていないか。

エネルギーのヴァンパイアになっていないか。

考えることが重要なのだ。

貴方は、エネルギーを奪おうとしていないだろうか。

お金を奪おうとしてないだろうか。

相手にも感性がある。

奪おうとするものからは、

人は離れていく。

結果、

メルマガのリストも枯れていくのだ。

だからこそ、

奪おう、奪おうとするのではなく、

与えよう、与えよう、

与える意識で生きるのだ。

価値を与えて、与えて、

与えることこそ、

ビジネスにおいて重要なことだ。

お金にもエネルギーがある。

食べ物にもエネルギーがある。

言葉にもエネルギーがある。

貴方にもエネルギーがある。

宇宙にも空間にも、

エネルギーがある。

そのエネルギーを意識しながら、

奪うではなく、

与えること。

ヴァンパイアではなく、

無償の愛、

何も求めない愛で、

与えて与えて、

与えまくるのだ。

与えることこそ、

自分の使命。

与えることこそ、

自分の天命。

そう思って、

貴方のスピリットをかけて、

周りの人に、

出会った人に、

与えていくのだ。

与えて与えて与えまくる。

そして、

エネルギーは循環する。

奪うのではなく、

与えられたギフトを頂く。

そうしてエネルギーは循環しながら、

貴方は、

いつか成功を手にすることが出来るのだ。

エネルギーは循環する。

だから、

エネルギーが切れることを恐れることなく、

与えていこう。

惜しみなく与えよう。

貴方自身が、

痛むほどに、

限界を超えて、与えよう。

[江川剛史からのメッセージ]

これだけの凄まじい真実を目の当たりにすれば、  
神が存在することは、

間違いないだろうと、気付くだろう。

私も神の存在を不明確に信じていた頃もあったが、  
今は信じている。

私は、今まで様々な経験をしてきたからだ。

偉大な神。

つまり大霊というのは存在する。

大霊の愛により世界は生まれた。

そこで、  
何で、こんな食物連鎖や弱肉強食な世界を、作ったんだと、  
疑問に思う人もいるだろう。

私も、まだ研究途中な為、  
その答えはまだ知らないが、

分かっていることは、  
世界は既に完成しているということだ。

報われない人も、必ず現世と死後で、  
報われるようになっている。

それは人間だけではない。

動物なども同じなのだ。

今報われなくても、  
以後、必ず報われる。

世界は、公正に出来ているのだ。

だから不幸にも災害で死んだ人も、  
それ相応、死後、報われている。

世界は既に完成していて、  
大霊が望む世界に、

世界は最終的には向かって実現する。

そう全ては、既に確定しているのだ。

でも、この世界は、  
現在、完璧ではない。

大霊が望む世界に、  
真っ直ぐ突き進んでいるのではなく、

その進化を留めさせたり、  
逆流させたりする流れもあるのだ。

だからこそ、  
私達は使命に目覚め、

世界に働きかけなくてはならない。

私達人間は、  
使命を持って生まれる。

生まれる時、  
既に、このような人生を生きると、  
知った上で、

生きることになるのだ。

だからこそ、  
恐れる必要は無い。

貴方は使命に目覚め、  
最大限生きれば良い。

そして、その半ばで死んだとしても、  
その後の世界が待っている。

私達の魂は永久不滅だ。

だからこそ、  
永遠に進化し、永遠に貢献しよう。

それこそ大霊が望むことだと、  
私は思うからだ。

・江川剛史からのメッセージ

私達は永遠に進化する存在だ。

それは私の今までの研究成果上、

そうになっている。

魂は永久不滅であり、  
さらにステージを上げるためには、

永遠に進化しなければならない。

勿論、ステージが下がることもある。

霊になったとしても、  
良いことだけ出来るようになるわけではない。

霊も良いことも悪いこともできる。

だから利他をすればステージが上がり、  
悪いことをすれば、

それ相応にステージが下がるのだ。

今話しに出たが、  
利他という考えが非常に重要だ。

利他。

相手の為に行動することだ。

それは自己利益になることではない。

純粹に、  
自分のためでなく、

相手の為に行うのが利他だ。

利他をし続けることで、  
魂はステージを上げることが出来る。

ステージが上がれば、  
そのステージに上がった存在と出会うことが出来る。

だから、  
魂を高めたいと思う方は、

利他の精神で生きていくことを、  
今からしていくと良い。

例えば、電車の中で席を譲るとか。

これで利他してステージが上がる、ではなく、

疲れていて、座りたくても譲る。

そんな精神が大事だ。

貴方が、もし席を譲れば、

その人は、感謝の気持ちを持ち、  
自分自身を休ませることが出来る。

そして人間というものの印象すら上がるだろう。

そうして連鎖が起こるのだ。

純粋に、相手のために思えば良い。

そう私は思う。

そうして、  
魂を永遠に高めていこう。

死後、再び、  
地球に生命を持って生まれることも全然あり得る。

私も、そんな時があるなら、

その時は、その運命を受け入れて、  
最善を尽くそう。

何度生まれても、

どんな境遇であっても、

私は最善に生きるだろう。

そして世界のために生きる。

そうであって欲しい。

[江川剛史からのメッセージ]

戦争は起こしてはならない。

人を殺してはいけないことと同じことだ。

だからこそ、  
戦争を起こさないために、

ありとあらゆる手段を講じるべきだ。

例えば、対話。

対話をすることをしているだろうか。

戦争や紛争やテロは、  
理解不足の為に起きることもある。

相手を理解し、  
相手と交流を持つ。

そして、  
理解を深め合い、

相手の気持ちを受け止めることが大事だ。

憎しみには憎しみを。

殺人には、殺人を。

それでは駄目なのだ。

正しいことをするためには、  
人間を超えなければならない。

人間としての良い部分を発揮しなければならない。

理解を深めることが大事だ。

そして悪いことはしないことだ。

相手を傷つけたりすることで、  
憎しみが生まれる。

憎しみというのは、  
低レベルな人間から生まれるものだ。

だからこそ、  
低レベル同士で、

問題に当たってはいけない。

私達人間は、

本当の意味で、  
全体的に、レベルアップが必要なのだ。

[江川剛史からのメッセージ]



人は、正しいことをしていても、  
誰かに批判されたり、  
悪口を言われたりするものだ。

私も、かつて悩み苦しんでいる人がいることを知り、  
無料相談活動をネット上で始めた。

けれども、私を批判する人は現れた。

でも、私には、その批判する気持ちが分からない。

考えてみて欲しい。

その人は、悩み苦しんでいる人の為に、

無償で相談活動をしているのだ。

普通は、良いことをしているとか、

頑張っ欲しいと思うだろう。

でも、一部の人は、

粗探しをしては、突こうとする。

私は、様々な人の相談に乗り、

様々な人から相談を受けたが、

中には、それを快く思わない人もいたのだ。

誰かを批判せずにはいられない人はいるのだ。

例えば、AKB48でも、  
中傷する人は絶えない。

私は、AKB48グループは、  
それぞれ頑張っているし、

それで多くの人的人生が、  
楽しいものになっている。

売上としても成功しているというのは、  
ビジネスとして成功しているということであり、

その戦略は、賢いものだと言える。

私は、エンターテイメントとして、

AKB48グループは良いと思うが、  
それでも批判する人はたくさんいる。  
2ちゃんねるなどを見れば、  
多くの批判や悪口が見当たるものだ。  
中には、死すら望む人までいる。  
いったい、アイドルが貴方に何をしたというのだ。  
つまり、世の中には様々な価値観があり、  
本当に様々な人がいるということだ。  
犯罪は無くならないし、  
社長もいればニートもいる。  
主婦もいれば、女優もいる。  
本当に、様々なのだ。  
だから様々な人がいる世界で生きていることを、  
自覚する必要がある。  
ビジネスでも叩かれて一人前だ。  
私もネットビジネスで稼いでいると、  
「こんな詐欺ビジネス、まだしてるの？」  
そんな感じで言われることもある。  
でも私は、  
いやいや、全然詐欺ビジネスではない。  
私は、そのビジネスで、多大な価値を提供している。  
そう私は思っている。  
何でもかんでも、批判したくなる人はいる。  
それは自分の人生が、つまらないから。  
上手く行ってないからだ。

誰かの悪口を言う暇があるなら、

自分に出来ることをする。

そういうことだ。

ぜひ、貴方もビジネスをしていく中で、

非難や批判を受けても、

そういう人もいる世界なんだと、

分かっている欲しい。

理解の無い人に焦点を当てるのではなく、

貴方の言葉に耳を向ける、

その人から、救っていくのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

私は歴史の専門家ではない。

だから、

書かれている記述が、

本当に正しいのかどうかも分からない。

だから、軽はずみには、

表現出来ないのだが、

歴史を学ぶことはした方がいいと思う。

学校の教科書だけで、

歴史を学ぶのではなく、

様々な書物を読んで、

様々な歴史観を学ぶことが需要だと思う。

そこには、

自分の常識とは、

違った意見もある。

そういう過程を経て、

本当に正解に近づくことが大事なのだ。

どちらにしても、

歴史は複雑だ。

深く知れば知るほど、

真実が見えてくるだろう。

だから大衆に流されるのではなく、

研究することが大事だと思う。

また戦争するような、

同じ過ちを繰り返してはいけない。

[江川剛史からのメッセージ]

実は、地球は、  
何度も大量絶滅を経験している。

ビッグファイブと呼ばれている、  
5回の大量絶滅だ。

大量絶滅と言っても、  
どれくらいの絶滅かと思うかもしれないが、

地球生物の80%が絶滅したこともあるのだ。

それくらいの絶滅が、

この世界では起こり得るのだ。

だからこそ、

人間も死滅する可能性は、十分にある。

恐らく、私の経験上の感では、

いつか人間は死滅するだろう。

それは何が原因となるかは分からない。

後どれくらい時間があるかは分からない。

ただ大量絶滅の可能性はあり、

地球の生命が終わる前に、

人類が絶滅する可能性は、

十分にあるということだ。

だからこそ、

貴方も人類を絶滅させたくないと思うのなら、

大量絶滅について研究するのもいいだろう。

そうして対策を考えるのも良い。

実際、私も、

様々なことを研究して行こうと思う。

人類の死滅は運命か。

それは逆らえるのか。

それとも必然なのかは分からないが、

人類の死滅もあり得るのが、

神のシナリオであるということが、

否定出来ない事実なのだ。

これを知ったことで、

貴方はどう思うかは分からないが、

結局、死滅しても、

人間の魂は永遠不滅であるので、

特に大きな問題ではないと思う。

むしろ、人間というのは、

良い部分だけではない。

死滅も行われるべき、

存在とも言えるのだ。

それは何故か。

何故なら分かりやすい例を言えば、

食物連鎖で、

大量の豚や鶏や牛や魚を殺している。

そして売れなければ、捨てられているのだ。

生命を何だと思っているのだろう。

私が伝えておきたいことは、  
人類が死滅する可能性はあるということ。

その上で、  
どうすべきかは、  
それぞれ考えて欲しい。

私も何故、  
このことを書いたか。

その理由は言わなくても分かるだろう。

[江川剛史からのメッセージ。]

やり過ぎには、注意しなくてはならない。

ビジネスで成功する上でも、  
幸せに生きていく上でも、

健康は非常に重要だし、

健康を悪くする一つの原因は、  
肥満である。

糖尿病などになったら、  
目が見えなくなることや、

透析として、  
週三回も病院に通わなくてはならない。

そんなことにもなりかねないのだ。

だからこそ、  
健康については気をつけなければならない。

だが、ただ気をつけるという言葉だけでは、  
気をつけられない。

では、どうすればいいか。

健康に関する本を読むことだ。

知識を手にいえることで、  
健康に気をつける具体的な方法や注意点が分かる。

そうして健康に気をつけ、  
肥満をなくし、

健康的に生きることが出来るのだ。

無知こそ誤りの原因である。

健康を損なったら、  
そこから治らない病気も多々ある。

ぜひ、病気になる前に、  
健康でいられるよう、

健康やダイエットについて、  
本で調べてみよう。

健康は重要だ。

不健康なために、  
生命すら無くす。

寿命が縮小する。

そんなこともあり得るのだ。

ぜひ、貴方も健康について調べよう。

健康であれば、  
貴方も快活に生きていける。

そうすれば、  
人生の成功も、  
手に出来るのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

人には、可能性がある。

私は、主に、

情報ビジネスというジャンルで、

様々なビジネスをし、

稼いでいるが、

誰もが、何か、教えることの出来る、  
ノウハウを持っている。

情報には価値がないと思う人もいるかもしれないが、

魅力的な情報を魅せることが出来れば、

商品として売れることも出来る。

情報ノウハウは何でも良いのだ。

ネットビジネスを教える教材でも良い。

転売を教える教材でも良い。

自己啓発教材でも良い。

営業の教材でも良い。

セミナー講師の教材でも良い。

心理学の教材でも良い。

スピリチュアルの教材でも良い。

催眠の教材でも良い。

恋愛の教材でも良い。

起業についての教材でも良い。

飲食店に関する教材でも良い。

占いの教材でも良い。

料理の教材でも良い。

何でも良いのだ。

PDF 文書でも良いし、

MP3 音声でも良いし、

Youtube を使った動画教材でも良い。



貴方が知っている、  
ありとあらゆるノウハウは、  
販売することが出来る。  
利益を獲得することが出来るのだ。

私も、  
楽な仕事に転職するノウハウに関する教材なども、  
販売している。

教材代金は、  
1万円でも良い、  
1000円でも良い。  
20万円でも良い。

自由に金額を設定してもいいのだ。

ぜひ、貴方も、  
自分は何を教えることが出来るか。

考えて、  
教材販売や、  
セミナーをやってみよう。

[江川剛史からのメッセージ]

日本人である以上、  
日本をどうして行くべきか、  
考えることが重要だ。

投票することは、  
勿論、行うべきだし、  
投票を行う際に、  
どの政党、

どの政治家へ、  
投票するかは、  
しっかり考えて、  
行ふべきだろう。

例えば、  
テレビの情報だけで決めるのではなく、  
政党のホームページや、  
政治家のホームページを見るのだ。

政党のホームページには、  
マニフェストが書かれていたり、  
このような政策を行いたいと、  
書かれていたりする。

そうして詳しく見てみると、  
危険だと感じる政策も、  
テレビには放送されないが、  
書かれていたりもする。

政治家のホームページも、  
人によって全然違う。

良いことが書いてある場合もあるし、  
全然更新されてない政治家のホームページもある。

様々な観点から政治へ参加することは大事だ。

そして国を買えるのは、

政治だけではない。

ビジネスでも、

情報発信でも、

国は変えられる。

日本に住んでいる以上、

日本の現状を知り、

真に正しいことは何か。

今後、行うべきことは何か。

考えて行動していくことが大事だ。

これから更に、

インターネットの媒体力は強くなる。

日本を知り、

日本を考えて、

日本を良くすることを、

ぜひ、考えて、

貴方に出来る何かで、

行動しよう。

[江川剛史からのメッセージ]

天才と呼ばれる人も、

最初から天才ではない。

天才ではない状態から、

様々な経験を積んで、

天才に成るのだ。

億万長者も、

最初から億万長者ではない。

億万長者ではない状態から、

様々な経験を積んで、

億万長者に成るのだ。

つまり、

天才も成るものであり、

億万長者も成るものである。

成功を手にするためには、

様々な経験が必要である。

本を読むことも重要だろう。

様々なことを学ぶことが必要だろう。

そうして、

沸点のように、

ある地点を越えたときに、

成功は訪れる。

成功は、

緩やかに訪れるのではない。

ある地点を越えたとき、

成功は手に出来るのだ。

だからこそ、

幅広いことを学んで、

繋げることも大事だが、

ある一つの分野で、

実力を身に付けることは重要だ。

ある分野で実力をつければ、

その分野で稼ぐことが出来る。

だからこそ、

収入を増やしたいなら、  
その分野を伸ばすことだ。  
自分の強み、  
自分の得意分野を、  
成長させて、  
進化させて、  
更なる成功を手にするのだ。  
成功は手にするもの。  
頑張り続ければ、  
手に出来るものだ。  
だからこそ、  
自分を信じて、  
考えて、  
考えて、  
ひたすら行動して欲しい。  
必ず成果は付いてくる。  
だからこそ、  
頑張っていこう。  
私も頑張っていく。  
貴方も頑張って欲しい。

[江川剛史からのメッセージ]

私も文章を書く時に、  
目指す目的がある。

このメルマガで、  
私が文章を書く時に意識しているのは、

貴方の人生に、

どれだけ革命的な影響を与えられるかである。

貴方が私の文章を読み、  
それを吸収して、

また新たな人間となる。

そうして、  
生きていく中で、

役立てて欲しい。

社会に貢献する上での知識や技術となって欲しいと考えている。

私もお金は欲しいと思っている。

生きていく上で、お金は必要だし、

お金があることで、  
自由も得られる。

でも、このメルマガの目的は、

世界を変える革命を起こすことである。

大量の本を読み、  
大量の情報を吸収して、

知識と情報を得た、

優れた人間を大量生産し、

より良い世界にする。

そのために私は、  
このメルマガを発行しているし、

私はビジネスをしている。

誰か一人を変えれば、  
その誰かの影響で誰かも変わる。

100人直接変われば、  
その関連で、

また人が変わる。

1000人変えれば、

1万人変えれば、

そうやって革命的種子を与えて、

それを広げることが目的なのだ。

ある起業家は、  
コミュニティを作る時、

ワンピースのルフィの海賊団をイメージして、  
運営していると話していたが、

私もワンピースの世界で表すと、

私が考えるコミュニティの世界は、

ルフィを含めた、  
様々な海賊団、そして海軍、  
村人、敵、味方、様々、

ありとあらゆる存在が、

参加するコミュニティだ。

だからこそ、  
反論があっても良い。

どんな意見があっても良い。

その上で、  
一人ひとりを革命的に進化させる。

それを目的に、  
私はコミュニティを運営しているのだ。

貴方も、ビジネスをする上で、  
どんな世界を創るか。

どんなコミュニティを創るか考えるといい。

世界観が無いと、

殺伐とした、

ただビジネスを教えるだけの、

味の無いコミュニティとなる。

結果、寂れて、

更新が滞ってしまうのだ。

ぜひ、コミュニティーには、  
命を吹き込もう。

世界を広げ、

魂と熱を持ち、

それぞれが生き活きと、

自己成長の為に、

活動するコミュニティーが優れているのだ。

だから貴方も、

まだ、このメルマガに、  
返信していないとしたら、

ぜひ、返信をして欲しい。

貴方の返信は、  
コミュニティーの為になるし、

何より貴方自身の成長に繋がるのだ。

よくコピーライティングを磨くには、  
写経するよう言われたりする。

そのように、  
自分を進化させるには、

貴方自身の手を動かすことが重要なのだ。

ぜひ、騙されたと思って、  
アウトプットを開始してみよう。

貴方のアウトプットが始まった時、

貴方にとっての本当の、

39万冊読書 CLUB は始まるのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

自身を向上させるためには、



学ぶことが大事だ。

つまりインプットを、

ひたすらしていくことが大事だ。

そしてインプットには制限を与えず、

無制限に様々な方法で、

インプットすることが大事だ。

例えば、

私は、ネットビジネスをしているから、

ネットビジネスの情報は、

教材、音声、動画、本、ブログ、ウェブサイト、  
セミナー、メルマガ、コンサル、等々、

様々なものから学んでいる。

居酒屋で稼いでいる人と話をしたり、

セミナーを受けた後に、

懇親会があれば、

必ず参加をした。

その他、

他人について、

知りたくなった頃は、

日記メルマガを大量に登録して、

毎日、

他人の日記メルマガを読んだ。

OLの日記も読んだし、

女子高生の日記も読んだ。

ひたすら人の日記メルマガを読んで、

生き方というものを学んだのだ。

そして催眠について学びたいと思った時には、

催眠メルマガに、

片っ端から登録した。

著名な催眠術師もメルマガを発行していたから、

楽しみに読んだ。

スピリチュアルについて学びたいと感じた時には、

スピリチュアルの本を、

ブックオフオンラインで、

大量に購入したり、

スピリチュアル系のメルマガを、

片っ端から読んだ。

引き寄せの法則について学んだり、

霊的なことを学んだり、

様々なことを学んだ。

そうして、

さらにスピリチュアルについて、

学びたいと感じた私は、

通信講座も受けたし、

ヒーラーの講座に参加したりもした。

実際、

私が相手の手の上から手をかざすと、

手が気を感じて、

涼しく感じさせることが出来る。

そんなことも現実的に、

実は可能なのだ。

こうやって私は、

様々なことから学んできた。

ブログからも学んだ。

教材からも学んだ。

通信講座やセミナーからも学んだ。

そして時には、

巨大な書店へ行って、

興味の無い棚まで目を通して、

本をめくった。

こうして無制限に、

様々なことを学ぶと、

新たな思考、

新たな視点が手に入る。

スピリチュアルについて知らない人と、  
知っている人は、

見えている世界が違うし、

催眠を学んだ人と、  
学んでいない人では、

言語力が違う。

こうやって、  
学びで人は進化するのだ。

私も、

今後、さらに学びを続ける。

映画などでも学ぶし、

漫画でも学ぶ。

ぜひ、貴方も様々なものから学んで欲しい。

進化した先には、

必ず豊かな日々が待っている。

[江川剛史からのメッセージ]  
統計を知ることは非常に重要だ。

データを知ることは、  
非常に重要なのだ。

偽りではないデータなら、  
そのデータは嘘をついていない。

真実なのである。

毎日、テレビでは、  
ニュースが流れるが、

ニュースで放送される事件は、  
世界で起きている事件の、  
ほんの一部でしかない。

私はネット上で革命活動をしているが、

その革命活動の一つに、

強姦被害撲滅活動がある。

強姦被害を無くすための広報ページを、  
作成して、メッセージを発信しているのだ。

ここでもデータが求められる。

強姦被害は、どのくらいあるのか。

警察庁によると、  
強姦被害認知件数は、

毎年 1000 人以上、  
強姦被害を警察が認知している。

つまり毎年 1200 人以上の女性が、  
強姦被害を警察に届け出ているということだ。

しかし、強姦被害を受けても、

警察に被害届を出さない人が多いことを考えると、

非常に少なく見積もって、  
毎年 2000 人の強姦被害があるとしたら、

10 年間で 2 万人の女性が強姦されているのだ。

2 万人の女性というのは、  
貴方の小学校のクラスの女子生徒の何クラス分だろうか。

それだけの人数、強姦されているのが、

日本の真実なのだ。

このようにデータは嘘をつかない。

私達は虚像の中で、生きているのだ。

だからこそ、  
私は、革命家として戦うことにした。

かつて、世界と闘い続けた。

悩み苦しんでいる人の相談を毎日受けて、

メッセージをホームページで発信した。

結果、私は心を病み、  
破壊されてしまったが、

私の中に、  
まだ怒りの矛先がある。

仏教を学び、  
スピリチュアルを学び、

私は怒りを手放した。

でも、  
今、こうやって書いているように、

突き動かされる感情があるのだ。

ぜひ、貴方も統計やデータを、  
調べてみよう。

総務省や警察庁など、

調べてみると、データが見えてくる。

私達は虚像の中で生きている。

そこから戦いを挑むとしたら、

それが革命の狼煙だ。

・私からのメッセージ

誰もが何かを守られている。

私も貴方も殺人者も、  
何かを守られて生きている。

守られて生きているのだ。

だから、そういう見えない存在にも、

ふと感謝を試みよう。

見えない存在は、

貴方を見守っていてくれる。

それは役割なのかもしれないが、

きっと貴方への愛も持っている筈だ。

人間は一人じゃない。

一人きりじゃない。

必ず貴方を見守っている人がいる。

貴方を応援している人がいる。

貴方は今、  
誰に支えられていますか。

そんな人を大事にして欲しい。

男性は、恋愛の場合、  
別名保存。

女性は上書き保存だと言うが、

私も今まで出会ってきた人、

一人ひとりに感謝している。

あなた達がいなければ、  
今の自分はいない。

一人ひとりと出会い、  
時に優しく、

時に想い、

時に傷つけ、

生きてきた。

これからを生きよう。

今を生きよう。

そして貴方の周りにいる人を、  
大切にしよう。

気持ちは伝えなければ伝わらない。

相手が死んだら伝わらない。

だから今から伝えていこう。

貴方の愛を。

貴方の感謝を。

[江川剛史からのメッセージ]

この国は何も変わっていない。

変わっているようで、変わっていない。

それは、皆、

嫌われることを恐れているからである。

嫌われることを恐れるから群れる。

嫌われることを恐れるから、  
世論と同じ。

メディアと同じになるのだ。

嫌われる勇気が必要だ。

革命には、嫌われる勇気が必要だ。

嫌われてもいい。

それでも、

この革命を起こし、

日本を救う。

嫌われてもいい。

殺されてもいい。

世界の為に生きる。

活動する。

この何も恐れない行動力が必要なのだ。

別に革命といっても、

軍隊とか暴力という話ではない。

情報革命、政治革命、思想革命。

様々な革命である。

非暴力による革命は、

起こすことができる。

その革命は、

誰でもない一般市民でも行うことができる。

小さな芽が出れば、

そこに栄養を与えていけば、

いつか開花する。

私も革命を起こそうとしているし、

貴方も、

革命を起こすために行動して欲しいと思う。



嫌われる勇気を持つ。

嫌われてもいい。

何を言われてもいい。

自分の道を生きるのだ。

その革命的行動により、

歴史は変わり、

世界は救われるのだ。

・江川剛史からのメッセージ

文章は技術だ。

技術を磨くには、どうすれば良いか。

それは学ぶことと、書くことだ。

私は、かつて名言をひたすら研究した時期があった。

偉人の思想に興味を持ち、

ひたすら何万という名言の数々を、  
ひたすら読んだ。

名言サイトも見たし、  
名言の本も読んだ。

私自身、  
聖書名言集を書いたぐらいだ。

名言を研究し、  
その結果、  
思考が磨かれ、

その後、  
自分のメッセージ発信のクオリティーも、

異常に上がった。

文章を書く上で大事なことは、

文章技術もあるだろう。

でも、私が思うに、

それ以上に大事なのは、

文章を創造する本人のレベルの高さだ。

私も今まで数々の本を読んだが、

そうやって勉強を必死にする以前と、  
今の自分では、レベルが違い過ぎる。

私は以前、  
再配布権付き音声セミナーを配布する会員クラブなども、

初心者の頃、実施したが、

やはり、今と比べれば、  
月とすっぽんだ。

文章レベルが自分の学びの高さと比例して変わるのだ。

文章は生き物だ。

魂が込められた表現物だ。

だからこそ、  
本人のレベルだけでなく、

どれだけ想いを込めたかも非常に重要だ。

小学生の作文でも、  
心打たれる文章があつたりするように、

一生懸命書いた文章は、

相手の心に響くのだ。

私も、この文章を書いている時、

想いを込めて、

パチパチとパソコンのキーボードを売っている。

注意散漫ではなく、

実は、防音ヘッドフォンをして、

貴方の為に、想いを込めて、

集中して書いているのだ。

この文章は今しか書けない。

この時の想い全てをかけて、

この文章を書く。

そうやって書いているのだ。

ぜひ、貴方も、  
自分を高めること、

そして文章に想いを込めることをして欲しい。

感情の無い『愛してる』では、響かなくても、

貴方を心の底から『愛しているの。』

こうやって、  
心を込めれば、

愛は伝わる。

ぜひ、心を込めて、  
貴方のメッセージを発信して欲しい。

江川剛史からのメッセージ

サイトを運営すれば、  
その属性に合った訪問者と出会うことができる。

英語サイトを運営すれば、  
英語を学びたい人が集まり、

哲学サイトを運営すれば、  
哲学を学びたい人が集まる。

このように、

どんなサイトを運営するかで、  
どんな世界が構築され、

どんな人が集まるかが決まるのだ。

私もかつては、  
相談サイトを運営していた。

教師を目指していた私は、  
教育のホームページを作り始めたが、

丁度、その頃、

不意に『自殺』というキーワードで、  
検索してみたくなり、

興味半分で検索したら、

今は無き自殺サイト、

少年少女の落書き帳『VOICE』に出会った。

ヤフーカテゴリーに登録されているぐらい、  
巨大なサイトだったが、

私は、その影響で、  
相談サイトを始めたのだった。

結果、悩み苦しんでいる人が集まった。

お絵かき掲示板を設置すれば、  
猟奇的な絵を描く人もいた。

でも至って、みんなは普通の人間であり、

ただ、人生に苦しみ、  
心を病んでいるだけだった。

本当に、悩み苦しんでいる人が、  
集まったサイトだったと思う。

結果、そういう環境にいた私は、

私自身も病んでしまったのだが、

そういう相談サイトを作れば、

そういう人が集まり、

そういう世界が生まれるのだ。

そして私はメンタルサイトとは距離を置いた。

一時期、  
再び、サイトを巡って相談活動を、

集中的にしたこともあるが、

今はやめている。

何故なら、ある存在から、  
助言を受けたからだ。

結果、私のサイトは、  
メンタル色は薄くなったが、

今後、再び、

ホームページは、革命の為に、

使おうと考えている。

私の中で、世界を変えたい思いはある。

以前よりは薄くはなった。

尖っていない部分はある。

でも、しこりのように、

革命という言葉を書く度に、

まだ、遣り残したことがあると、

感じる部分がある。

だから再び、

革命のための発信もしたいと思う。

私は、情報で世界を変えたい。

教える伝えることで、

世界を変えたい。

そう考えている。

そのためには、  
どんな手段も検討範囲だ。

世界を変える。

今の世界のままだはいけない。

その尖った心を、  
忘れず高めて行こうと思う。

それこそが革命家の命だからだ。

[江川剛史からのメッセージ]

世界は広い。

私達は世界のことを、  
全然分かっていない。

日本の常識は世界の常識ではないのだ。

そして外国へ行っても、  
外国のことを一部しか知ることが出来ない。

私達は、地球に対して無知なのだ。

だから世界へ旅立ち、  
世界を見ていくのもいいだろう。

しかし、世界は、  
伝染病や犯罪、

飛行機墜落など、

安全面でも安心出来ない部分がある。

女性も安全ではない海外へ行くのは、  
不安だろう。

そんな時に役立つのが、  
Youtube だ。

Youtube には、  
海外の街並みなどの動画なども、

数多くある。

例えば、

イスラエルにあるヴィアドロローサ。

これはイエスキリストが、

十字架を背負って、

息を引き取るまでに歩んだ道なのだが、

このヴィアドロローサも、

Youtube において動画がある。

イエスが十字架を背負い、

倒れた場所。

代わりに十字架を背負ってもらった場所、

イエスの墓など、

動画に収められているのだ。

このように、

Youtube には様々な動画がある。

日本語だけでなく、

英語で地名を書いて、

検索するといいだろう。

それと、

海外の人が見た、

日本の動画も興味深い。

例えば、

秋葉原の街並みの動画などは、

非常に見ていて面白い。

私も秋葉原には、

簡単にアクセス出来る距離に住んでいるが、

それでも、

こんなにも面白い場所なんだと、

気付くこともできる。

世界を知る上で、

Youtube を使うのは非常に有効だ。

ぜひ、貴方も日本語と英語で、

地名で検索して、

様々な場所の動画を見てみよう。

[江川剛史からのメッセージ]

好奇心を持つことは重要だ。

様々なものを見て、

体験することで、

また新たな世界を知り、

それがコンテンツにすることが出来る。

例えば、

私は葉加瀬太郎のライブへ、

行ったことがある。

素晴らしいヴァイオリンの音色で、

とてつもない、

感情の興奮と、動きがあった。

それと比べて、

同じライブでも、

LUNASEA のライブは違った。

ライブ中は、

立って応援するために、

エネルギーを消費する。

結果、

ライブ終了後、

私は疲れ果てていた。

でも、

様々な名曲が演奏されて、

また、いつか行きたいなと思った。

このように、

同じライブというものでも、



違うものを感じる。

漫画でもそうだ。

私は、ドラゴンクエスト ロトの紋章という、

漫画を見た。

私の中で、

ドラゴンクエストの漫画は、  
ダイの大冒険だという感じが強かった。

でも、

ロトの紋章には、  
ロトの紋章の良さがあり、

感じるものがあつた。

様々な漫画を読むことも良いし、

アニメを見るのも良い。

エヴァンゲリオンも、

最後まで見ることで、

その良さが分かる。

そして、  
テレビアニメ版と劇場版は違う。

これも興味深い部分だ。

テレビアニメと言えば、

クラナドとか AIR とか、

女性の登場人物が出てくるアニメがある。

でも、

クラナドも AIR も、

泣きアニメとして有名で、

アニメサイトでも評判が良かったから私は見た。

すると、  
テレビアニメ版は、  
とてつもなく、  
素晴らしいものだった。  
感動して涙を流した。  
クラナドや AIR のコンテンツに、  
感動で人生も変わったのだ。  
ゲームでもそう。  
ザ シムズ 2 という、  
人間の人生をプレイするゲームでは、  
自分の現実世界の家族を、  
ゲームでも創り上げた。  
すると、  
また違った感覚を覚える。  
自分の家族を客観視出来る。  
自分自身に指示ができたり、  
守護霊のような体験も出来たのだ。  
このように、  
様々な体験が、  
貴方を作り出す。  
私も、  
AKIBA's TRIP PLUS というゲームをする前と、  
プレイした後の秋葉原の印象は、  
全然違う。

貴方が変われば、

世界も変わるのだ。

ぜひ、様々な体験をしよう。

人生は、

様々なことを体験すべきだし、

様々なことで学んだ、

自分自身は成長すべきだ。

ぜひ、様々な体験をして行こう。

[江川剛史からのメッセージ]

私自身、

かつてメンタルサイトを運営していて、

病んだ人をカウンセリングしていた。

だから、

犯罪者の相談に乗ったこともあるし、

カニバリズムと呼ばれる、

人を食べたい人の相談も受けたことがある。

悩み苦しんでいる人は、

世の中に多数いて、

悩みサイトを見れば、

虐待、性被害、いじめ被害など、

様々な被害が見て取れる。

そういう人と関わることは、

ある種、

危険なことでもある。

逆恨みされたら、

被害者になるのは私だ。

でも、

それでも、

カウンセリングをしていた。

彼らを救いたかったのかもしれない。

その気持ちは、

今も消えることなく、

間接的に援助をしている。

私は、かつて、

米国催眠療法協会のトレーニングを受けたことがあった。

そのトレーナーが言っていたことだが、

ホラー映画は見ない方が良いということだ。

私自身も催眠を学んで、

その理由が分かるが、

ホラー映画を見ると、

ホラー映画と現実が、

合成されていってしまうのだ。

私自身、

ホラー映画は、

全くと言っていいほど見ない。

でも、

世の中には、

見る人がいる。

ホラー漫画なども、

書店を見れば、  
見かけることが出来る。  
出来るだけ、  
ホラーには、関わらないことだ。  
ビジネスで成功するためには、  
成功者に触れる機会を多く持つと良いと、  
言われている。  
それと逆の理論で、  
ホラー映画に触れる機会を多く持つと、  
貴方自身も、  
その影響を受けてしまうのだ。  
自らも怪物とならぬよう、  
ぜひ、ホラー映画には、  
関わらず、  
理性を持って、  
犯罪加害はしないようにしよう。

[江川剛史からのメッセージ]

貴方は幸せだろうか。  
でも、  
この世には、  
不幸せな人がいる。  
自殺を考える人もいるし、  
非行に走る人もいる。  
私が相談活動を始めた時、  
いくつもの相談が来た。

無料相談だったせいや、  
リストカットについて書いたページが、  
検索2位にいたため、  
相談は絶えず来た。  
そういう世界の闇をたくさん見た。  
救われない人。  
助けを求めている人。  
誰かに救ってもらうことを求めている人。  
たくさんいる。  
私は、幸せだ。  
本当に、幸せだと思う。  
私の目に映る世界は、  
希望と幸せで満ちている。  
でも、  
絶望と不幸で溢れている世界に生きている人がいる。  
そうして自殺してしまう。  
それが許せなかったから、  
私は世界と闘い、  
結果、精神病院に入院したのだが、  
また、今日、  
久しぶりに自殺サイトを見ようと思う。  
私は幸せだし、  
私にはやることがあるし、  
誰かの為にしたところで、  
何もいいことがあるとも限らないし、

むしろ、マイナスな部分もある。

人の不幸や苦しみは、毒物だからだ。

でも、

僕は、その人たちのことを忘れてはいけないと思う。

自殺志願者は減ってはいるが、  
存在はしているんだ。

私は大きなことの為に生きるが、

彼らのことも時に思い出したい。

今日も、助けを求めている人がいるかもしれない。

私のメッセージで、  
救われる人がいるかもしれない。

だから、今日は自殺サイトへ行ってくる。

貴方が自殺サイトを見るのは、  
おすすめ出来ないが、

私は、リスクを覚悟で、行ってくる。

何のためかは分からない。

ただ、幸せ溢れる自分の世界から、

敢えて不幸に満ちている世界へ行ってくる。

それは何故なのか。

では、行ってくる。

[江川剛史からのメッセージ]

命について考えてみようと思う。

まず、自殺はしてはならない。

人間は使命を持って生まれ、

この現世で学び、  
使命を成就しなければならないのだ。

自殺は、現世で学ぶべきことを放棄し、  
使命を達成させないまま、

生きることを止めることだ。

それは霊的にもしてはいけないことだ。

ただし、  
自殺したくなることは、  
誰でも起き得ることだ。

事実、私も自殺したくなったことはあった。

自分を責め続け、  
心の鞭をひたすら打ち続けた結果、

私は、死にたい衝動が抑えられなくなった。

そんな時もあった。

仕事が辛くて、  
もう耐えられない。

こんな人生が続くなら、  
死にたい。

そう考えたこともある。

だから死にたくなる気持ちは分かる。

でも、死んではならない。

悩み苦しむ原因があるなら、  
それを解決すれば良い。

仕事が辛いなら転職すれば良い。

親に虐待を受けているなら、  
他の親族に相談するとか、  
学校の教師に相談するとか、

児童相談所に相談するとか、

行動を起こすといい。

自分で自分を救うのだ。

いじめられて死にたいなら、



不登校になれば良い。

進学の時期になったら、  
同じ学校の生徒が行かないような学校へ行けば良い。

心の病に苦しんでいるなら、  
精神科へ通えば良い。

カウンセリングを受ければ良い。

そして大事なことは本を読むことだ。

自分の悩みに合った本を読むといい。

自分を変えること。

自分の人生を変えることを、  
自ら決断していくことが大事だ。

私は、あるリストカッターに、  
シークレットという自己啓発 DVD を紹介したこともある。

でも、その女性は、買いたいと思わないといって、  
何もしなかった。

現状に苦しんでいるのに、  
現状をいつまでも変えようとしない。

そうやって、  
いつまでも同じ苦しみを苦しんでいる人が多い。

それではいけない。

苦しいなら変われば良い。

自分を変えること、

自分から変えること、

今を変えることをすべきだ。

私も死にたい衝動が起きたこともあったが、

その衝動が収まれば、  
死にたい気持ちなど無くなった。

仕事が辛くて死にたくなった時、  
ハローワークの求人を見て、

転職したら、  
死にたくなかった。

世界に不適応を起こし、  
人間は生きるべきではなく、  
死ぬべき存在だと考えたこともある。

でも、答えは変わる。

そうして私は、今、

霊的な知識も身に付け、  
幸せに生きている。

ビジネスでも成功しているし、  
毎日が充実している。

とにかく、  
諦めないことが大事だ。

そして焦らないことだ。

そして大したことをしなくても良い。

ただ、生きているだけで良い。

そうして、何かしたくなったらすれば良い。

罪の意識があるなら、  
誰かの為に行動すれば良い。

自殺の相談に乗っても良い。

貧困で苦しんでいる人に寄付しても良い。

人間は、使命を持って生まれる。

まず人生あと、何年だ。

焦らず生きよう。

人生は変えようと思えば変えられる。

人生変われば、人生は最高だ。

ぜひ、諦めずに、

生きることをして欲しい。

男なら逃げずに立ち向かえ。

女性も、自分に甘えて、  
誰かを頼らずに、

自分で自分を救え。

たくましく生きろ。

強くなるんだ。

言い訳ではない。

自分をより良くするんだ。

自分を良くしていけば、

それ相応に世界の対応も変わる。

世界は、引き寄せの法則で成り立っている。

貴方が望むものを、貴方は引き寄せる。

死を望めば死が。

幸せを望めば幸せが。

求めよ。そうすれば与えられる。

ぜひ、幸せを求めて欲しい。

生きて行きたいと思えるような人生を求め、  
望み、そして変えるのだ。

[江川剛史からのメッセージ]

心理学を学ぶことは、非常に有益だ。

心理学を学ぶことで、  
人との接し方も深く考察出来るし、

自分自身を知ることにも繋がる。

私自身、心理学を学ぶきっかけとなったのは、

自殺志願者の相談を受けていく中でのことだ。

興味本位で、『自殺』と検索し、  
今は無き、巨大なサイト、  
少年少女の落書き帳 VOICE にて、  
悩み苦しんでいる人が、  
大量にいることを知った。  
それがきっかけで、  
そのサイトでメッセージを書いたり、  
自分のホームページで、  
相談を乗るようになった。  
リストカットをする女性達から、  
大量の相談を受け、  
その過程で、  
水谷修が著した、  
夜回り先生という本に出会う。  
そうして、  
私はメンタルな世界へ入り、  
様々な心理学と相談活動を行ったのだ。  
今思えば、  
こうなることは運命だったのだと思う。  
私は、精神病院に何度も入院経験があるが、  
こうなるきっかけは、  
大量の相談を受けたことと、  
究極を求め過ぎたためだ。  
だから貴方に忠告しておくが、  
相談活動は、

人の悩み苦しみを受け止める作業だ。

精神衛生上、はっきり言って良くない。

自己啓発の世界では、

ネガティブな情報は一切遮断した方がいいというが、

それも一理あるように、

ネガティブな発言をする相談者の相談を受け続けることは、

悪影響な部分がある。

でも悩み苦しんでいる人がいるから、

その人を救いたい。

その気持ちを持つことは尊い。

だからこそ、

あらゆる形で人のためになることをすればいいと思う。

相談が全てではない。

本を書くことも。講演をすることも、

人のために成る。

貴方なりのやり方で、

誰かを救うことをして欲しい。

心理学は、恋愛にも役立つ。

恋人と愛し合うためにも、

子どもを育てるためにも、

自分を進化させるためにも、

何もかも役立つ。

ぜひ、心理学を学んで欲しい。

そして、ここで学んだことを、  
世界に活かして欲しい。

心を知ること、人間を知ること。

さあ、心理学の世界も見ていこう。